

道 徒 の 聖

第一九五八年三月十七日第三種郵便物認可(毎月一回)日発行
第六卷第三号一九六二年三月一日発行



1962

3月号

末日聖徒イエス・キリスト教会

聖徒の道三月号 目次



神殿を訪ねて……………ロスアンゼルス神殿……………	129
予言者のことば……………人間の熱望……………デビッド・O・マッケイ……………	131
伝道部長メッセージ……………「お友だちをつれてきてください」……………	134
質疑応答……………「十字架」を身につけることについて……………	138
……………ジョセフ・フィールディング・スミス……………	
エンサインローレル教科課程……………	
おあいにく。ほかに代えるものはありません……………	140
誰の顔の汗によって……………	145
支部だより……………	150
横浜支部訪問記……………	155
……………渡部 正雄……………	
ヤングアーゼネレーション……………	158
花い人々によせる……………佐藤 栄子……………	
……………モルモン経について……………	
……………畑 中陽夫……………	
第一長老定員会……………	162
日曜学校ガイド……………	162
子供の日曜学校ガイド……………	162
……………ことものためのかけえ……………	
……………東京中央支部子供日曜学校……………	
系図……………新撰姓氏録……………	164
M I A リーダー……………	168
末日聖徒イエス・キリスト教会歴史……………	169
……………ジョセフ・フィールディング・スミス……………	
メルケゼデク神権……………	177
英会話テキスト……………	186
伝道本部だより……………	190
クイズルーム……………	192



神殿をたずねて(3)

ロスアンゼルス神殿

一九五六年一月献堂。

ロスアンゼルス神殿は、南部カリフォルニアの中心地を見おろす高台に位置する。

この荘嚴な建物の頂にある天使モロナイの像は、地上二五七フィートの高さで、ロスアンゼルス建物の中でも高いものの一つである。献堂される前に六十六万二千名余の人が内部の視察を許された。これは末日聖徒によって建てられた総ての神殿の中で最も高いものである。





予言者のことば

人間の熱望

大管長 デビド・O・マッケイ

今ちよつと「熱望」ということばに注意の目をむけていただきたい。「熱望」とは読んで字のごとく熱心に何ごとかを望むことであり、つよいねがいであり、また高い理想を実現しようとする切なねがいでもある。

ここで、意味をはっきりさせるために、人間を三つの群にわけてかんがえさせていただく。まず第一は、

(一) 滴虫類である。この群に属する人間は一生をただようように無定見ですごく人々である。もつとも低級な生物のなかには、何のあてもなしにうごきまわる微生物がある。このような微生物は「あきらかにその媒質のなかにある刺戟をうけてうごき、ゆきあたりばったりにおよぎまわる。およぎまわっているうちに、何か自分の栄養になる物にぶつかればこれを吸収し、また何かほかの物のちかくなる」とそれにのみこまれ消化されてしまう。このような微生物には何ら発達した感覚もなく、また高等な生物のもっているような運動力もないから、九十九パーセントまでは数時間のいのちしかなく、栄養不良か破壊によって消滅してしまふ。この滴虫類は、何の目的もなしに生活をはじめ、その結果として九十九パーセントまでがほろびてしまふ。第二は、

(二) ホタル族である。この群に属する人間は、滴虫類に属する連中よりは知性のていども高く道徳性ももっている。夏の宵には小川のほとりなどでよくホタルのとびかうのが見られる。このホタルは、夕立の前にはひじょうに活潑であるように思われる。ホタルの光は一瞬間物をてらすだけである。つぎの瞬間には万物が暗につつまれる。一瞬パツと輝やくとつぎはまたしんのやみ、これがホ

タルの姿である。

「気高い熱望」についていうと、ホタル族の人間もこのとおりである。このような人には、あらゆるいやしい汚れたものから超越し、高い知性と美の中にひたろうとする熱心なねがいをもつ輝やく瞬間がある。彼はどのようなことがあっても必ず徳と道理とを雄々しく勇敢にまもるであろう。もしも力と権能さえあつたら、この二つをもちいて必ず同胞を助け世の中をもっと良くするのであらう。

しかし数時間たつと、彼はこのような気高い理想に燃えていない連中のなかまになり、彼の熱望の光はきえ、熱情の火はなくなり、彼の心は無関心と耽溺のやみの中へ没してしまふのである。

善い意志があつても、これに注意してまもらないとじきになくなってしまふ。しかしながら、いまよりも善くしようという切なねがいを全くもたないよりは、一度でもこうしたねがいをもちたが、その熱望が下火になつたという方がよい。熱望のこり火がちらつてゐることは、またこれを燃えあがらせることのできるものあることを示している。これは一点の火花さえも生じないしめつた流れ木よりはずっとましである。第三は、

〔常緑樹のような人々である。常緑樹といっても、私の考へてゐるのは先のとがった杉・ひのきのたぐいではなくて、巨人木といわれる「セコイヤ」のことである。「セコイヤ」は高さ百メートルにもおよぶ巨人のような常緑樹であつて、直径はふつう三メートルくらい、まれには十メートルにもちかいものがある。「セコイヤ国立公園」にある「ゼネラル・シャーマン」とよばれる一本の「セコイヤ」のごときは樹齢三千五百年といわれている。この樹のいきている間に、無数の人間の人生がながれていった。この樹はいなづま、洪水、山火事などをたえしのいでなおいきつづけている。これほど長い年月いきてきたのは、この樹の中にたえしのぐ力がひそんでいたからである。

常緑樹のような人は、人間が何ら役にたたぬ肉のみからなる生物ではなくて、「霊と肉との結合体」であることをよく知つてゐる。このような人は、自分がしばしの間岸から岸へとただよい、ついに人の世という激流の中へ没し去つてしまふ物体以上のものであることをはっきりと知つてい

る。このような人の内には自分を現在の自分以上に高め、自分の環境、自分の肉体およびあらゆる物質的なものを支配し、現在よりもいっそう高く美しい世界にいきようとはげます何物かがひそんでいる。

もしもあなたが幸福ならんとするならば、もしもあなたがはるか彼方に熱心に望み見る成功をおさめんとするならば、まず為すべきことは自己に忠実なこと、すなわち自分の内にある、もつとも低級なものではなくて、もつとも善いものに忠実であることである。一つの目的をたてて人生をふみ出せ、しかもその目的は気高い目的でなくてはならない。忠実な人間のもつとも気高い徳の一つである。それは誠心から真実をつくすことであり、義務と愛と原則とをまことの心でふみ行うことである。

自己に忠実であることは容易なことではない、しかし私はあえていう、自由意志をあたえられた「神の子」らである人間は、誘惑の力がいかに大きくとも、最善と思うものを選ぶことができる。現在、とくに青年がわが国の祖先と同様に個人の自由の真価を認識してこれを神聖に保つよう、この真理を全地に告げしらせることは、何よりも先に行わなければならぬことである。

終りに、神と同胞に対して忠実であれ。もしもあなたが、そのはるか彼方に見える目標にしゅびよく達したいならば、神は全宇宙を支配したもうゆえに、神を正しくやまわねばならぬことをいふもわすれぬようにしたまえ。この栄光にみちた世界をあたえられたことと、その中に生をいとなむことができる感謝の祈りを神に捧げよ。神の導びきと、何ごとにもせよ自分の為そうとすることに神の助けがあるようにねがい求めよ。神に手をさしのべよ、さらば助けと導きの力を得るにちがいない。



「友だちをつれてきてください！」

ポール・C・アンドラス

わが教会はいまや全世界を通じておどろくべき有さまで発展しはじめています。千九百六十一年中にバプテスマを受けて教会員となった改宗者の数は全部で約九〇、〇〇〇人でありますから、千九百六十一年中にあらわれた教会員の純増加数は約一五〇、〇〇〇人のほりまです。今やわが教会の全教会員は一、八〇〇、〇〇〇人でありまして、今年が終らないうちに二百万人の目標を越す見込みであります。今から百三十二年前の千八百三十年四月の六日に、わが教会が六人の会員から発足してから百万人になるまでには百十七年かかっていますが、それからさらに百万人ふえるのに千九百四十七年から千九百六十二年までわずか十五年だけかかっているのに注目すると大へん面白いことです。三百万人の会員になるには何年かかるでしょうか。信じられないように見えますが、三百万人の目標は今から三年ないし五年以内に越すにちがいないと思えます。おそらくそれよりずっと早いようです。教会の会員数が毎年百万人以上ふえているようになることは間もないことであって、やがてわが教会のおどろくべき成長が全世界注目の的となることは明らかであります。

「専任宣教師が全時間働らいている伝道部」ではわが教会は非常に勢いで大きくなっています。全世界に散在している六十六の「専任宣教師が全時間働らいている伝道部」に属する専任宣教師の数は全部で約一一〇、〇〇〇人にのぼっていきまして、千九百六十一年中

にこれらの宣教師によってバプテスマを受けた改宗者は七六、八二七人でありました。これは、千九百六十年中に専任宣教師によってバプテスマを受けた改宗者三六、七二三人の二倍を上まわる数であります。英国では千九百六十年の四、六九二人にくらべて、千九百六十一年には、一三、三一五人の改宗者がバプテスマを受けました十九の伝道部では、千九百六十一年中にバプテスマを受けた改宗者の数が、千九百六十年中の改宗者の数の二倍を上まわり、もっと多くの伝道部では千九百六十一年中にバプテスマを受けた改宗者の数が、千九百六十年中の改宗者の数の二倍近くになっています。北部極東伝道部は千九百六十一年中に全部で一、三二二人のバプテスマを記録しましたが、これは当伝道部で千九百六十年に記録した九二七人のバプテスマよりも四十三パーセント多い数であります。当伝道部が今年中に達成すべき目標は三、〇〇〇人の改宗者を得ることにきめられています。毎年当伝道部でバプテスマを受ける改宗者が一〇、〇〇〇人をこえる時も間もないにちがいありません。

当教会が改宗者獲得に著々成功を収めている唯一最大の要素は「紹介制度」の有効な利用でありまして、私は当伝道部でこの「紹介制度」を有効に利用するときは、今年当伝道部で三千人以上の改宗者を得る結果になると確信しております。この「紹介制度」というのは、現在教会の会員になっている方々や求道者の方々が、その友人や親戚を宣教師に紹介して下さるというだけの方法です。こう

することによって、会員の方は一人のこらず、マッケイ大管長がおたのみになったように宣教師の働らきに参加することができるようになります。「会員は一人のこらず宣教師」とは、イエス・キリストの再臨にそなえて神の御国を築き上げるために強調するわが教会の全世界にわたる標語であります。「会員は一人のこらず宣教師！」会員は一人のこらず、その親戚と友人とを教会へつれてきて宣教師に紹介する。このようにして、三千人以上の改宗者を今年当伝道部に入らせることができるのであります。

この「紹介制度」が有効に運営されるためには、会員と宣教師相互の間に非常に密接な調和と協力がなくてはなりません。私は全宣教師に、この「紹介制度」に努力を集中して、すべての会員と求道者の方々に、集りのある度に友だちをつれてきてくださいとたのむよう指示いたしました。「友だちをつれてきてください」とは、この「紹介制度」が本当に旨く行くようにする当伝道部の標語であります。私は宣教師たちに、会員が非教会員または親戚を一人つれて来たら中に入れてあげる「フアイヤサイド」を開いてくださいと申しました。私は宣教師たちに、すべての会員に集りのある度に一人の友だちをつれてきてくださいと言うように申しました。私は宣教師たちに、会員たちが非教会員の親戚と友だちのために自宅で「家庭集会」を開いてくださいと言うように申しました。私はここに、すべての地方部長会の方々とすべての支部長会の方々が、これらの

活動を實行するとき宣教師たちと協力されるようにねがつておりません。そしてこの計画がすべての支部に地方部に新しい活気と活動を生ずるものと確信しております。私は、各支部長会の方々が、まごころからこの計画を支持して宣教師たちと充分協力して下さいさうとおねがいする次第であります。

次の聖句の中で、主はすべての会員が宣教師であるように命じ、この誠命に従う者たちに与えられる良い酬いを指摘しておいでになります。すなわち、

「見よ、われは民に証し民を警めんため汝らを遣わせり。されば、その警めを受けしことあるすべての人はその隣人を警むる責任あり」(教義と聖約八十八〇八十一)。

「汝ら、人の値は神の前に大いなることを憶えよ。見よ、そは汝らの救い主なる主は肉体にて死を受けたればなり。これを以て彼はすべての人々の悔い改めて彼に來らんために、すべての人々の苦を受けたり。彼はすべての人々悔い改むるならば彼に連れ行かんために、死人の中より再びよみがえれり。而して悔い改むる人を見て彼の喜びは如何に大いなるか。これを以て、汝らは今の世の人々に悔改めを叫ばんために召さるるなり。而して汝らもし生涯今の世の人々に向いて悔改めを叫ぶことに力を尽し、唯一人の人たりともわれに導かば、わが御父の国に於て彼と共に汝らの喜び如何ばかりぞや。さて、わが御父の国にわれの許に導きたる唯一人の人につきて汝ら

の喜び大いならば、汝らもし多くの人を導き來らばその喜びは果して如何ばかりぞや」(教義聖約十八〇十一十六)。

「さて見よ、われ今汝に告ぐ、すなわち汝にとりて最も価値あることは、汝今の世の人々に悔改めを宣べて人々をわれに導き、以て彼らと共に父の御国に休まんことなり」(教義と聖約十五〇六)。

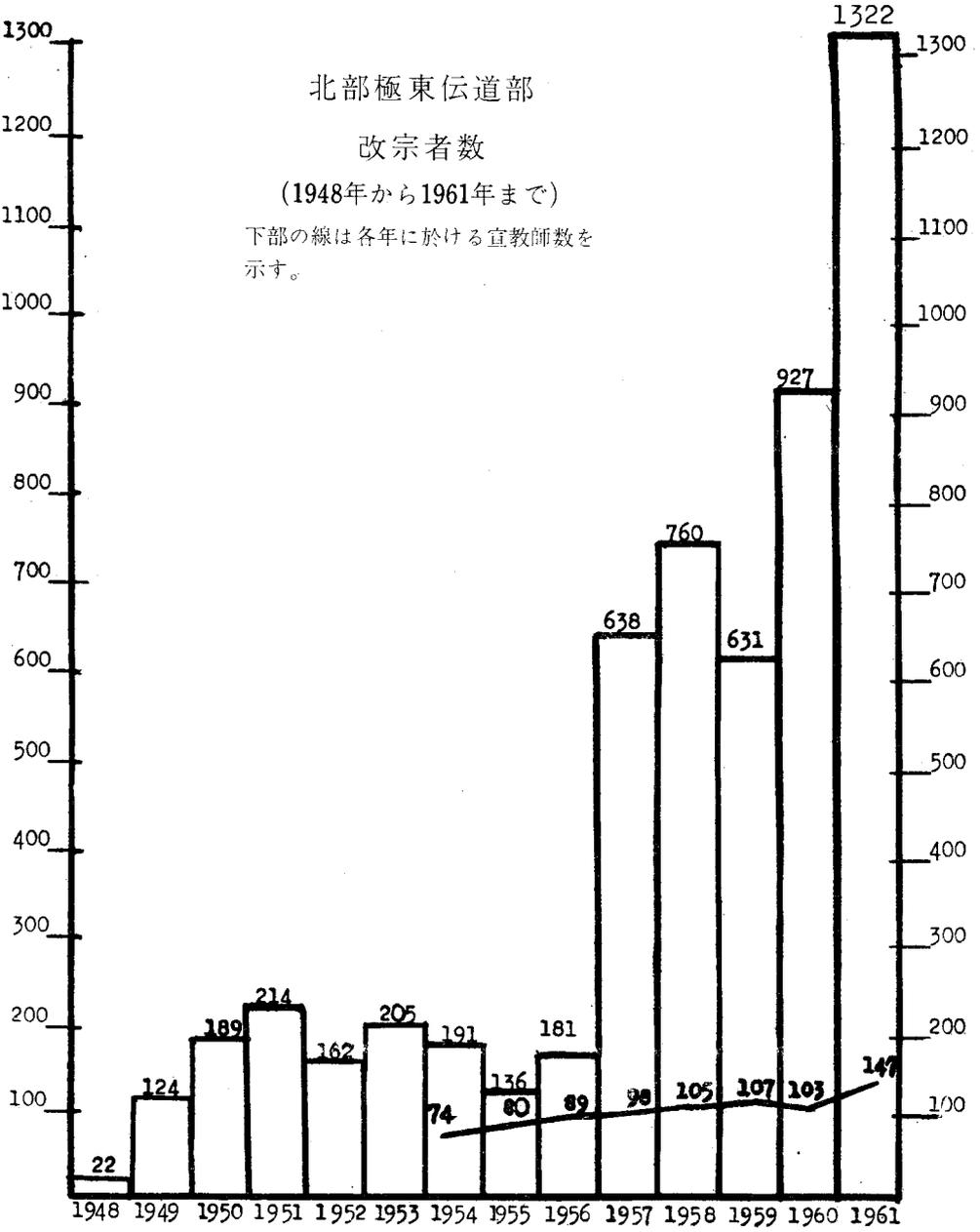
「会員は一人のこらず宣教師」！友だちをつれてきてください！千九百六十二年に当伝道部の改宗者は三千人以上！近い将来に於て当伝道部の改宗者は毎年一万人以上です！主のために奉仕をするに当り、あなた方の一人一人に主のみめぐみのあるようにお祈りいたします。

北部極東伝道部

改宗者数

(1948年から1961年まで)

下部の線は各年に於ける宣教師数を示す。





解答者 ジョセフ・フィールディング・スミス長老

「十字架」を身こけることについて

質問。

「私は末日聖徒の家庭にうまれて、末日聖徒たちの間で大きくくなりましたから、宣教師になって伝道にでてみて始めて『十字架を身につけること』という質問についてまじめにかんがえる機会がありました。」

「この教会の会員になる前にカトリック教会もしくはプロテスタントの教会に籍をおいていた多くの人々は、できるだけ力をつくして福音の教えをふみ行い、過去の習慣を清算しようとしている間にも、前の環境の中にもっていかなくつかのならわしを、なお無意識のうち身につけています。その中の一つは、首かざり、腕輪そのほかのものの上に「十字架」のしるしをつけていることです。」

「末日聖徒イエス・キリスト教会の教えは、これがまちがっていることを指摘していると思われます。それは、私たちがこのような「十字架」に対して何らとくべつなうやまいをもたず、また私たちの教会堂にも家庭にも「十字架」がおいでなく、また装飾品として「十字架」を身につけてもいないからです。もしも私の仮定がまちがっていないなら、聖典の研究によってこの信念をどのようにして確認したらよいでしょうか。この質問に対し、私が明瞭に理解できるようになおことばが教会の幹部からいただければありがたいと存じます。」

解答。

われわれは「十字架を身につけている」ことに対し、カトリックの信者またはプロテスタントの信者である人々の誠実な心に疑いをさしはさむものでもなく、またこれらの人々が何かまちがった行為をしていると思うものでもない。しかしその一方、これはわが教会

の会員の心に何の感動もあたえない一つの習慣である。ほかの教会の会員の人々がこのような習慣を身につけるもとなる力は、ひじょうに誠実且つ神聖な意志表示であると結論しなければならぬ。

これらの人々にとって、その「十字架」は責苦の象徴であるのではなくて、神の御子のうけたもうたぎせいと苦しみの感銘を人にあたえらるものであった。しかしながら、わが救い主が十字架の上で死にたもうたからというので、十字架の前にひれふし、もしくはうやまうべき象徴として仰ぐことは、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員たちにとって嫌悪すべきことである。

「十字架」の使用は、はるか古代にまでさかのぼることができ。古代に於て「十字架」を何の意味で使用していたかはよくわかっていない。エジプト人は「十字架」を生命と豊産をあらわすものとして使ったといわれている。しかしながら、クリスチャンが一般に「十字架」を用いるようになったのは、贖い主が「十字架」にかかりたもうたからである。「十字架」崇拜の習慣はコンスタンチン大帝が或る示現を見てから生じたと思われる。コンスタンチン大帝は、天に一箇の十字架が現われるのを見、それによって戦に勝つとつけられたということである。その時から「十字架」をうやまいの対象として用いる習慣が生じて、カトリック教会に対する反逆がはじまった時にも、「十字架」崇拜の習慣は多少なりともプロテスタント教会の間に見られたものである。

解答者をはじめ多くの人々にとって、このような習慣は嫌悪すべきものであり、贖い主に対する真の礼拝に反する行為である。われわれが「十字架」の前にひれふし、または象徴として使わねばならぬ理由がどこにあるか。救い主が「十字架」の上で死にたもうた

という理由で、「十字架を身につけていること」はたいていの末日聖徒にとってひじょうに低級な趣味でありまた真の礼拝と一致しないことである。死刑を執行する方法の中でもっとも惨酷なのは「十字架」の刑である。人に責苦をあたえる点ではあらゆる国民に長じていたローマ人の間ではこの方法がもてはやされた。もしも主イエス・キリストが短剣か剣で殺されたもうたという理由で、現代のキリスト教徒が短剣か剣で身を飾りそれを崇拜しているなら、まことに奇妙なことであろう。

へりくだった、悔い改めの精神と誠心から感謝する祈りとは、「十字架」を崇拜することよりも、救い主が自ら進んでぎせいとなりたもうたことよってわれわれの受けている大きな祝福を認め且つ礼拝するはるかにすぐれた方法である。万人が復活をするのは救い主が血を流したもうたからであり、われわれは忠実なことによって「日の栄えの最高に昇る」ことができる。

(インブルームメントエラ誌、一九六一年三月号)

おあいにく。

ほかに代える

ものが

ありません



末日聖徒の純潔な生活は非常に目立っている特色である。人生のあらゆる面に於て、個人の純潔に関する主のおきては明瞭に示されている。然るに神の命に従わない人々は、純潔な生活を送らないときに、ほかの人々を「狭量」だとか、「古くさい」とかいう。品行方正の本当の価値がわかるために何が助けとなるか。また正しいと知っていることを行う力は何かから得られるか。……問題点

われ神、わが像の如くに人を造れり。わが生みし独子の像の如くに人を造り、すなわち、これを男と女とに造りたり。われ神、彼らを祝福して彼らに言いけるは、豊に生めよ、殖えよ、地に充ちよ、地を従わせよ、また海の魚と空の鳥と地の上に動くすべての生物を

治めよと。……高価なる真珠、モーセの書二〇二十七—二十八。

私たちは誰でも、誘惑にたいこうして「まっすぐな狭い」道を守ることがはたしてやりがいがあるかどうかを疑わせるような立場に直面せざるをえないことがあるにちがいありません。たいいていの人はこのような経験がある上に、肉体の誘惑の圧力がきわめて大きいので、悪にたいこうする私たちの能力がどういいう性質をもっているか、誰でもこれをよく知っているひつようがあります。食欲は人の心につよく訴える力をもっており、人々は正しい論理をしりぞけても食欲に味方をすることがあります。私たちがとっさの判断にたよることは必ずしも安全ではありません。私たちが問題については将来を見とおしてかんがえ、便宜のために切望してもわすれ去ることのできない理想と標準とを立てて自分を強めることの方がずっとよいのであります。

私たちが実際の理想を立てるに当ってもつともつよい助けを与えるもの一つは、人生の本当の目的に関する主なる神の教えをみとめることであります。これらの目的が何であるかははっきり理解していないならば、克己自制をする根本の基礎を欠いているのであります。私たちは誰でもみな、青年時代にたえず「…するなかれ」といわれたことにレジスタンスをした経験をもっています。私たちはたいいてい「…であるからするなかれ」という勧告をうけたとき、もしその「…であるから」という言葉のつぎに、私たちのもっている問題を敏感に分析し、私たちが努力してゆくことのできるわかりやすい目標をはっきりといっているなら、よるこんでその勧告に耳をかたむけます。

誠命に従って純い生活をする結果として、「福音の計画」の中に私たちが追求する目標は、主なる神とともにその永遠のみわざを完成することでありませぬ。この地上に生をうけた人間のために定められた規則に従って、私たちが最初の両親（アダムとイヴ）に与えられた「生めよふえよ地に充ちよ」という神の誠命に従って行動するを許されるとき、私たちはどんなほかの経験の中に於ても二度と演ずることのできない神との協同作業をしているのであります。

純い生活に与えられる酬いは、いかにも光栄にみちた酬いではありませぬか。これに反して、人が放蕩な生活と安っぽい代りのものによって自分自身を荒廃させ、自分の体のみならず他人の体まで汚すときは、できるだけ完全にサタンと手を組んでいるのであります。不純な生活はいかにもいやしい卑屈なものではありませぬか。自分の意志によってどちらでもえらぶことのできるこの二つの行いを注意深く現実的にながめて正しい道をえらぶときには、その道を進んでゆくのをさまたげるあらゆる圧力と陰険な議論の挑戦をうけることを覚悟して、立派な人間としての正しいえらびかたをしなさい。いつもあなたの目を正しい目的にむけておさなさいようにしなさい。そうすれば、空なものも真実なものと同じように見せかけようとするサタンに向って「おあいにく。ほかに代えるものがあります」といいう力を決して失なわないにちがいありません。

昔のことわざにあるように「不幸は友を好む」のであって、自分を守るものをなくして道德的に墮落した人たちがその一番よい例であります。私たちが前非を悔いない人たちから「引きずりこまれる」ことがあるのを知らなくてはなりません。このような人たちは自分よりほかの人たちをみな、たいこうするのを負かして真理にそ

むかせいつわりに味方をするように説得する巧妙な運動の目的物と見なしています。現在、りっぱな青年男女で、男女がひとしく貞操の義務ありとして純潔な生活を個人に要求している厳格な道徳的生活をするのは「社会的に見て」正しくない、という議論のために足をすくわれている人がひじょうにたくさんあります。世の中には性の特権階級があるはずもなければ、主なる神さまの道徳律の中に特権をもった性があるはずもありません。

私たちが道徳的健康の衰えないように自分自身を守るには、いくつかの大切な方法があります。第一に大切なのは身体を尊ぶという正しいかんがえをもつことです。聖典にも、私たちの肉体は「神の聖きみたまの宮」であるといつてあります。「身体を堕落させるときはその中にある霊を必ず重い病いにかける」のであって、表面からは必ずしもすぐ明らかには見えないが、正しくない生活が霊に与える害は、往々いやな気持ちを引き起こすことがある肉体の損害よりもかぎりなく重大なものであります。肉体は擬装をして人をだますこともできます。しかし霊は天の父なる神や母なる神の目からのがれることも、私たちが自身の良心からのがれることもできません。

私たちは人生の早いころから、私たちの家族生活の目的へ向って足をふみ出すことができます。これは若い男の人たちにも、女の人たちにもいえることであります。青春の夢を夢み、私たちの苦勞する本当の意味をかんがえないで、瞬間的なはかない「感激」とひきかえに、すべてのものを捨てておくべきではありません。それは、何らの計画ももたずに、まず圧力と誘惑に負ける精神的肉体的の「漂流者」たちがすることです。いわゆる「レジャー」は「のらくら」して過す時間であつてはなりません。怠けることは私たちの道徳の

「スタミナ」(体力)にとつて一番害をおよぼします。

たいていの人は自分が強いが弱いかがよくわかつています。私たちは、安全に自制ができる充分な余裕を与える環境や友だち仲間の中にいつも居れるよう知恵を働かせなくてははいけません。酒をのんでもよいという理由が見出されなければ、酒をのまない賢い決断をして即座に行動に移る能力をいづれももつことができるという事実は、完全に禁酒をするのを充分に正しいとするではありません。これはけつしてつししみ深い風をすることもなければ古くさい事でもなく、圧力に屈するよりもむしろ原則に従つて生きたいと思つてすべての人のための常識にすぎません。私たちが友だちや愛人を選ぶときには、その人たちの性格の強さについての知識によつていちじるしく支配されなくてはなりません。私たちは、まじわりをする相手に弱い人々を選ぶことによつて實際道徳上害になることをするのであります。

これまで主なる神は、性の純潔についてはつきりと訓誡しておいでになります。イスラエルの子らを導くためにモーセに下さつた十誡の中に「あなたは姦淫してはならない」という神の戒めがあります。末日に於ては聖徒たちに、主のみことばが予言者ジョセフ・スミスを通して啓示されました。それは「教義と聖約」第四十二章にある「汝ら誠心を以て妻を愛してこれと結び合はるべし。その他の者に愛着することなかれ。婦女を見て情欲の念を起す者は信仰に背くなり。「みたま」を与えらるることなし。もし悔い改めずんば捨てらるべし。汝ら姦淫することなかれ。姦淫をして悔い改めざる者は捨てらるべし。されど、姦淫をなしたる者誠心を以てこれを悔い改め再びなさざる時はこれを赦すべし。もしこれを再びする者は、赦

さるることなくして捨てらるべきなり」というみことばでありま
す。これとおなじ精神で、主なる神はその予言者たちを通じ、モル
モン経にあらわれた民に姦淫の罪を犯さないように警告なさいまし
た。彼らの中の未婚者の間に性的罪悪があったからであります。以
上の誠命は明瞭に誌されていまして、そこにこじつけやつじつまの
あわないところはすこしもありません。

末日聖徒である青年男女には、人生でますます重要になる使命が
あります。此世の悪が「立ち枯れ病」のようにひろがっているので
若い人々の間の健全な生活は衰えてゆく燈火のように消えかかって
おり、深まってゆく暗黒は不吉なきざしを示して人々を落胆させて
います。

わが教会員である若い人々の使命のもつ精神は、「山上の垂訓」
の中に見事に言いあらわしてあります。すなわち「あなたがたは世
の光である。山の上にある町は隠れることができぬ。またあかり
をつけて、それをますの下におく者はない。むしろ燭台の上におい
て、家の中のすべてのものを照らさせるのである。そのように、あ
なたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよ
い行いを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしな
さい」と（マタイ伝五〇四—十六参照）。

誠心をもった人々は、飢えかわくように善い模範をしようとい心
けております。人をわなにかけたりひっかけたりする言葉や表現の
多いこの時代に、人の口から出るとのような言葉よりも力づくよく語
る「教えの実践」以上に神の御国を広めることのできる道はありま
せん。

「善い生活は楽しみです。」あなたの反対者たちに成功を収めさ

せてはなりません。なやみのない良心から出る自由ほど楽しいもの
はありません。ぬけ目のない利口な青年たちは、君のできるのは編
物だけかい、と冗談をいうでしょう。このような皮肉に對しては、ま
ずいしゃれをとばすよりはむしろ良い計画を以て答える必要があり
ます。これで強調すべき点を再びはっきりと強調することになりま
す。利口な女の子は、年中「できないわ」とばかりいって防禦の位
置に立つよりは、むしろ自分と自分のデイトの相手が実行すること
のできる良い提案をたくさんもっています。

男の方に責任がないというと思われるといけないから、私は、
どのデイトの相手にも自分を「欲待する」ようにいどむ男ほど許し
難い男はないとはつきり言います。大昔から、正しい女の子は正し
い男の子に心をひかれました。それは男の方に、正しい事を先に立
ってする行動と正しい大望がはつきりとあったからであります。こ
れらの美しい性質は、デイトをきびしい試験にするよりは、たまし
いをはげまし感激を与える経験にするものであります。

モルモン教会を研究する他国の人々は、モルモン教会がほかの教
会に見られない、青年のためにもっとも広い範囲にわたって役に立
つ実行計画をもっているとしています。この人々は私たちよりもも
っと大きな客観性を以て、この実行計画がすくなくとも理論上どん
なに完全に一つ一つ根本的の必要に答えるかをしばしば発見してい
ます。私たちの多くは、あまり森のちかくに住んでいるので全体の姿
を見る事ができません。私たちは、教養の追求と靈性の訓練とが
入りまじっているすばらしい社交プログラムに活潑に参加すること
を許されていることが、どんなに大きな祝福であるか充分に認めて
いません。人生の中のもっともかんじんな決定をする背景としてこ

の機会をもっているのは、全世界に於てわが教会の若い人々だけではありません。主なる神は、私たちが道徳の基準になかった行動をするよう一層期待をなされる権利をお持ちであります。「多く与えられるところには、多くが期待される」からであります。

「教授の手助け」

一、レッスンの目的

生徒たちのために何純潔であることのためにはつきりと決定をする必要のあることをくわしく説く(ロ)この決定にいつも従う人々は大きな喜びと心の平安を得ることを描写する(イ)道徳の力を得る源のいくつかを生徒たちに指摘すること。

二、教授の方法(提案)

(イ)レッスンの始めに聖句を読んで考えさせよ。

(ロ)清潔健全な道徳的の生活を送った人々の写真を雑誌からとってきて、その反対に肉欲の生活を送っている人々の写真を置く。清潔健全な生活が、そういう生活を送った人々の姿や精神、とくにその行いに一般に表われていることを示す。

(イ)イエスがバプテスマをお受けになってから四十日間荒野へお入りになったわけ。イエスは荒野でなされた決心を再決心なさったことがありますか。

三、生徒たちの参加に対する提案

(イ)次の言葉について考察せよ。「危機の迫るよりもずっと前に根本的の決定をしておかないと、大てい人間の弱さによって判断が曇るものである。」なぜそうなるか例を挙げて答えなさい。

(ロ)肉体を墮落させると霊も墮落するのはなぜか。

(イ)真理の原則に従って生きる人と、欲望の圧力に従って生きる人

との違いは何ですか。

四、生徒たちの応用に對する提案

(イ)肉体の欲は正常なものであるから、人は欲望の現われたときいつでもこれを満足させるべきである、という議論に對して、私たちは何と答えますか。

(ロ)不道徳なことをするように誘惑されていると感じたらどうすべきですか。

(イ)私たちの教会には、男女両性に對して異った道徳律が存在することができないのはなぜですか。

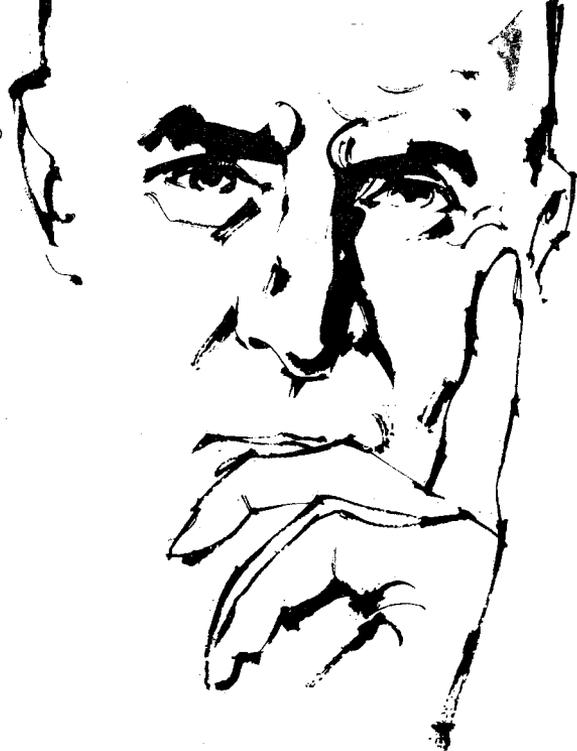
(ロ)一生涯道徳の力を与える、どのような特別な「行為の標準」を、私たちは自分で設定することができますか。

(イ)道徳的な生活によって得られるいろいろな利益を黒板の上に掲げなさい。

(エンサインとローレルは来週一しよに集ります)

エンサインローレル教科課程一九六二年四月十九日

誰の顔の汗によって？



現代多くの人々は、
正しい労働が人類の物
質的靈的の救いにどんな
に大切であるかを忘れてし
まっている。一つの教会とし
て、われわれは多種多様の仕事
に適する善い働き手をつくるよう
に専念している。われわれのもって
いる宗教は、「正しい一日の給料を得
るために正しく一日を働らく」ことをど
のようにわれわれに教えることができる
か。(問題点)

「シオンに住む民は、その任命せられたる働きあらば、これを憶えて全く忠実に務むべし。およそ怠る者は主の前に憶えらるべからばなり。今やわれ主は、シオンに住める民を悦ばず。そは、怠る者その中にあり、彼らの子らもまた今や次第に悪事に増長し、永遠の富を熱心に求めずしてその眼は貪欲を以て充さるればなり」。「教義と聖約」六十八〇三十一—三十一。

「世の中は、私に生きて行かせる義務がある」とは歌の題ばかりでなく、世界の隅々までも行きわたっているかんがえの根であり、現代青年の心につよく働きかけています。もともとこれは人の心につよく訴えるかんがえである、というのは、生きて行くためになくてはならぬものばかりでなく、せいたくなものまで手に入れるのに、一人一人はほとんど努力をしなくてもよいという意味をふくんでいるからです。これは徹底的にまちがっていることであって、これを追求する人々は自分自身を役にたたくし進歩も発達もとまっています。このような人々は隣人の重荷となり、その肉体も道徳もともに腐敗するために、そのほかのまちがった教えや、くさった行いの「養殖場」となるのであります。

わが教会の実行計画を良心的にしらべてみる末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は、誰でもみな福音の諸原則をふみ行うに当って生ずる元氣と活動力とに打たれるにちがいありません。モルモンの人々は、全体からみてけっしてなまけ者といわれておりません。わが教会とその会員について研究している外国の人々は、個人や団体がひじょうに元氣な足取りでいつも働らいているのは何によるのであろうかとたびたび不思議に思います。わが教会の定期に行う宗教学行事と補助組織の実行計画の全部とを合計した上に、教会の福祉計

面に属する多くの生産と配分の計画とをこれに加えるときには、教会の行う事業の総計は、本当にそうでなくても威圧を感じるくらいであり、実際当惑している人々もあるのです。

それにもかかわらず、教会の仕事に活潑に参加していることのあるいろいろな証拠に対する面白い一つの見方もあるのです。自分の仕事にも教会の仕事にも望ましい目標がありますが、それに対してひとしく喜んで熱心に働らく証拠として、両方の仕事に毎日「繰り越し」がめぐまれています。教会の仕事を活潑にやる人は、また他の事業でも活潑に働らいている人であります。イエス・キリストの福音に従順であることから流れ出る、この元気に働らく精神は、歎身的な末日聖徒にともなういちじるしい祝福であります。この精神があるので、末日聖徒は、そのような原動力をもたない人々と別の位置におかれ、また結局知識を増し、ますます役に立つようになる多種多様な経験があたえられるように区分せられるのです。

「汝怠惰なることなかれ。およそ怠惰なる者は働く者のパンを食することもなく、またその衣服も着るべからざればなり」という、「教義と聖約」第四十二章ののっている原則は、主なる神の啓示であつて、信仰悔改めバプテスマとおなじく主イエス・キリストの福音の一部であります。私たちは信仰悔改めバプテスマの原則とおなじようにそれをふみ行い、また毎日の生活をその精神に導かれて送らなくてはなりません。それでありますから、私たち教会員は、自分の力でできる事を家族や教会や国がしてくれる義務があるというまぢがった教えを信じたり、それによって動かされたりすることはできません。しかし、そういっても私たちが社会の進歩に足を合わせることはできないとか、人類の経済活動を促進するように計画さ

れた新規の工夫を利用することができないという意味ではありません。私たちは単に働らくことを本当に樂しむために洗濯板でごしごし洗うべし、といつて洗濯機を全然排斥するものではありません。教会が教えている真意は、怠惰は罪である、もし心からの骨折りと賢い計画のあとに得られる満足と発達とをあげわうはずであるなら、善いことのために、私たちは自分の時間と才能とを精力的に用いなくてはならない、ということです。

私たちの先祖は、機械文明の時代がはじまる前には朝早くから暗くなるまで一日中畑に出て働らき、または生活に必要な品物を生産するために骨を折つて働らきました。それにくらべると今日の時代は、いわゆる「レジャー」を樂しむことができてずっとよいと世間で盛んにいわれております。しかし、怠惰とおなじ意味の「レジャー」というかんがえのぎせいになるよりは、畑に出て重い「くわ」を振つたり、商売の品物を手で造つたりする方がもっと私たちのためによしい。重い「くわ」を振つたり、手で物を造つたりすれば体が疲れてしまふかも知れませんが、怠けておれば私たち自身がくさつてしまふでしょう。

若い人々の中には、教育を受ければ受けるほど、社会に出てから働らかなくても良い待遇を受ける地位につけると思っている人たちがあります。これもまた本当にまぢがっている教えであります。聖典には「多くあたえられるところには、多くのものが期待される」と教えてあります。従つて、多くの教育を受け多くの訓練を経た人が少く期待されるということは全く不思議であります。私たちは、数々の能力を大きな目的のために発展させます。しかもその目的は私たちが役に立ちよく働らくことのできる範囲をひろげるための

のであります。今日、高度の特殊専門教育が行われている時代には人々が手を硬くせず脊骨を緊張させず靴革をすりきらないでも正しい仕事をしているという事実を目をそむけてはなりません。芸術や科学の面に於ける創造的の仕事は、神の目から見て、単純な労働や組織立つた体の動きによる働きを通して行われる基本的の仕事に劣らず貴いものであります。

各人に対しては、その一人一人が最上の努力をする価値がある仕事があり、またこれに釣合つた能力と、この仕事を上手に楽しくしようとする傾向があります。このような特殊な仕事を見つげることと、いろいろな能力を使ってこの仕事をするには、人生が私たちにあたえる最も大きな経験であります。それは恐れや落胆を生ずるものであつてはなりません。私たちが賢明に選んで、上手にまた効果的にこの仕事に従事するように力を借す助けがたくさんあります。教会の力によって私たちの得られない助けは少しもありません。

職業を上手に選ぶには、健全な価値の感覚を以て選ぶのが一番よろしい。人が一生を捧げるに足る仕事は、自分のためにもなるし人類の幸福にもなるように自分の才能を使うことができる性質のものでなくてはなりません。これが職業選択の道德面と言へるかも知れません。教会は家族と共に、この点について導きをあたえる主な源になっていきます。「あなたが、天の父なる神に正しく祝福を求めることのできない関係のあることは何もするな」という勧告を受けて、真の道に足を踏み出した末日聖徒の若い人々がたくさんあります。これはすべての人が生涯守り行うべき、賢明にして安全な道しるべであります。これを聞いて、これは職業の予想を狭くすると論

ずる人もありますが、このようにして予想が狭くなくても、個人と社会に対しては結局善いことになるのであります。

この際、よく考えなければならぬ。一つの大切なことは仕事に対する態度であります。ある青年は自分の雇われた会社の支配人と話したときに「僕もまた支配人になって机の上へ両足をのせ、命令を受けるより命令を下すことができるようになるまで待つちやいられない」という態度でした。このような態度を見ると、仕事の本質が何であるかが根本から解っていないことが明らかにあらわれています。人生に於て、新しい責任を一つ負うごとに、新しいやりがいのある仕事が始まってきます。これらの新しい仕事を覚えると、私たちはもっと大きな責任に堪える資格がで、さらにまた一つもっと複雑な仕事ができます。このような階段を昇って行く人には、成長と理解力と一層の能力とがめぐまれるのであります。人はまだ経験したことのない仕事についておそれを抱くことなく、むしろ過去に於て成功した通りに今度もまた必ず成功するという確信を以てその仕事を期待する者であります。人はこのような新しい問題の解決を、聡明な努力と忍耐とを重ねれば、しばしば新しい方法や手段を見つけて、その仕事に成功するという確信を以て処理することができます。これが個人が進歩発展するに於てならないものであります。

お互いのために、またお互いに働らくということは私たちに協力という大きな教訓を教えます。人間は、人間のために神が定めたもうた最も高度の社会秩序をつくり上げるために、現在他人と自分との関係や相互依存として表われているものを要求するようにできています。働らく人々は他人の財産や権利について強い感覚をもって

います。ところが怠け者の人たちは、他人の所有物も自分の所有物も見えがたいがつかまません。このような人たちは施設や品物がどうして出来るかについて全く考えなしであります。またこのような怠け者の人たちが、根本的権利と自由を守るために人々が相互に捧げ合っている合法的な組織団体の価値を何ら認めていないのは、もっと重大なことであります。怠け者の人々は大てい他人の働きによって生活し、自分を正しいとするために、食事と食事の間には「ただで何かにありつく」哲学を説いています。これに反して、イエス・キリストのまことの教会は明瞭にまた正しい憤りを以て教えております。まことの教会の会員は、怠け者の人たちの哲学で生活することもできなければ、その教えを先きに立って唱えながら、しかも教会員の資格をもっていることもできません。

末日聖徒である若い人々が世の中へ出て行くとき、彼らは、責任を引き受けて定められた務めを一生けんめいに働らくという教会の訓練が、自分たちのもっている一番大きな財産であることを知るにちがひありません。世の中には、進歩の機会を見つめるのは一般に言ってやさしいことだという知識と能力とをひろげる手段として、喜んで仕事を引き受ける若い人々が欠乏しております。「私は知りたい、だから私は喜んで働らく」というのは、人の心を喜ばせるうれしい言葉でありますから、職を探している人はきつと将来重く用いてくれる雇い主に会うことができます。

私たちが自身の生活の中に旺盛な目的のある活動力と、価値のある計画をその結論まで見通す意志とを失わないでもっているときには、クリスチャンの理想を非常に有利に反映させます。勤勉と協力の象徴として末日聖徒の開拓者たちの前に置かれた「ミツパチの菓」

の精神は、「バツタ」とインディアンと全くの孤立とが「まず生きること」の原則に強い意味をあたえていた当事と同じく、一世紀以上上った今もお大切であります。私たちの環境はいちじるしく変わってきていますが、それでも根本の原則は変わっておりません。イエス・キリストの福音の諸原則を履み行うとき、私たちは力と目的と信仰の大きな源をもって居ります。

人類の祖アダムに主なる神さまが「あなたは一生涯顔に汗してパンを食べる」という律法をおあたえになったとき、神さまはアダムとその子孫の必要に一番適している経験と成長と進歩の要素をすべて含んでいるこの世の生き方をはっきり教えて下さったのです。私たちはその子孫であります。神さまがアダムに下さった律法は私たちに下さった律法であります。私たちはそれを認識し、それをふみ行い、それによって利益を得ようではありませんか。それは主なる神の道であります。

「教授の手助け」

一、レッスンの目的

生徒たちが職業を選ぶに当り、彼らを導き、「正しい一日の給料を得るために正しく一日を働らく」原動力となる基本の考えを作用するように助けをあたえる。

二、教授の方法（提案）

(1) レッソンの始めに聖句を読んで考察する。

(2) 生徒に、一生けんめい勤勉に働らいて立派な実業家となった人々の話を知っていたら、その話をさせよ。これと対照して、仕事に努力をしなかったから失敗をした人々の実話をさせよ。

三、生徒たちの参加に対する提案

(1)「ただで何物かを得ようとする」人々が欲望を起すのに次のものほどどんな関係があるか。(2)自働トバク機(3)カルタ遊び(4)多すぎる空想(5)娯楽でもうかる仕事を欲しいと思うこと(6)政府の施こし。

(7)失業手当や施こしが人々を弱めるわけは何か。

(8)人々はどこから「世の中は私に生きて行かせる義務がある」という態度をもつてきますか。

(9)「ただで何物かを得る」ときは結局一番高くつくことがあるのはなぜですか。

四、生徒たちの応用に対する提案

(1)教会で活潑に働らくと、どうしてそれが社会の中で仕事をたくさんする有益な人となる助けになるのですか。

(2)黒板に十種類の職業を書く。次に職業選択の根本標準(クラス)の生徒が五つ定める)に従って順位をきめます。

(3)強化された訓練は、どのようにして、他人に一層効果的な奉仕をするに役立ちますか。

(4)「あなたたちは顔に汗してパンを食べよ」という神のみことは、私たちのためになりますか。そのわけを言って下さい。

(来週エンサインとローレルは別々に集ります)

エンサインローレル教科課程一九六二年四月二十六日

(一八五頁より続く)

モルモンは「ニーファイの小版」に何ら手を触れずに彼の記録の「残りの部分に」つけ加えただけでありませぬ(モルモン言五一六参照)。

現在のモルモン経にのっているモルモンの作品は「モルモン言」という三頁と少々の短いものであります。

モーサヤ書以後は「ニーファイの大版」にのっていたいろいろの「書」からモルモンが抄録したものであります(ニーファイ第三書五〇八―一二参照)。

モーサヤ書とそれにつづく五つの書、すなわちアルマ書、ヒラマ書、ニーファイ第三書、ニーファイ第四書およびモルモン書は、みな「ニーファイの大版」からモルモンが抄録したものであって、モルモンはこれらの抄録を「モルモンの版」の上に刻みました。

モルモンが自分の抄録の中に何を入れるのかをきめるのに、彼の人格と個性とが役立つことは全く自然であります。モルモンは神の予言者であると同時にまた偉大な軍事指導者でありましたから、その抄録に宗教的経験と民の教えと戦争と不和の記事がのっている

のは驚ろくに当りませぬ。

モルモンはすでにベンジャミン王が勇敢であると同時に神の啓示を受ける軍の指導者であると言っておりませぬ(モルモン言三十一―八参照)。それでモルモンは、モーサヤ書の中に、ベンジャミン王の行った宗教上の教えをのせています。

支 部 だ よ り

松 本 支 部

正月中の行事と予定（一月十九日現在）

三日のMIAは東京四支部より以前に松本支部で熱心に努力された四人が訪問されました。

西 支 部 土屋豊彦兄弟

南 支 部 坂本欽央兄弟

中央支 部 川上雅子姉妹

北 支 部 小林容子さん

以上の方々とレッスンの後ゲームをして過

しました。親しく懐旧談を語りました。

十四日 朝の澄んだ空気のうちにバプテスマの儀式が行われました。名前は橋本志保利さんです。大学で音楽を専攻されておりますので、支部の音楽面が進歩するでしょう。強い

証詞をもった姉妹になりました。

十五日 結婚式（別記事）

二十日 食事会MIA主催により、伝道部の

MIA予算獲得の為に行われます。

二十一日 猪又さんと松倉さん二人の方のバ

プテスマの儀式が予定されており、会員

が多くなるので嬉しいことです。

三十一日 この日のMIAは「クワルテット

の集い」です。宣教師達のグループや男性及

福 岡 支 部

各支部の兄弟姉妹、お元気ですか。福岡では一月三十日に大雪が降り十五センチほど積りました。私たちの愛する福岡支部は市の中心街より少し離れた所で、近くには公園や動物園がありとても環境の良い所です。支部の庭は緑の木々や大きな庭石がありスバラシイ所です。このような場所です多くのモルモンが元気に育って行く事は非常にスバラシイ。

（福岡支部の日曜学校役員改選）

（会長）竹内宏美。（第一副会長）重岡政信

（第二副会長）西田隆一。（書記）月岡繁子

（先生）村上千尋、佐伯毅、松浦秀明。（図

書係）安達和代、山下賀子。（聖徒の道係）

吉沢みどり、山下順子。（子供日曜学校責任

者）桜木洋子。

宣教師の移動は次の通りです。

（転入）三の宮支部よりネルソン長老、京都

支部よりライマナ長老、横浜支部よりマケイ

ン長老。（転出）広島支部へステイブンスン

長老、阿部野支部へケース長老、岡町支部へ

ギル長老、東京南支部へウイルクソン長

老、東京中央支部へハウエル長老。

一月二十八日、安息日にアンドラス伝道部長

御夫妻が福岡支部を訪問され聖餐会に出席さ

れました。御夫妻の美しい二重唱の後、伝道

部長より力強いお話しを伺い一同大いに勇気

づけられました。

一月のバプテスマ

安達和代、石井、西（七日）、雲林院敏子（二

十八日）西田隆一執事に按手聖任さる（十四

日）

一月二十七日「食べよう会」を開き利益は二

千四百三十拾円でした。

（編集者）

足達和代姉妹

山下順子姉妹

山下賀子姉妹

び女性等のグループが練習して発表の準備をしています。

結婚式挙行される

松本に於て、初めてのモルモン結婚式が新春の気分が薄らぐとする一月十五日成人



の日に洋裁学院の二階ホールで、めでたくとり行われました。松本支部は建物が無いので、川上姉妹（現、遠藤姉妹）の通われている洋裁学院をお借りして東京中央支部の遠藤文方兄弟と当支部の川上安子姉妹の結婚式は、ハピカン長老（支部長）の祝福により、兄弟姉妹、友だち、それに両家親戚の臨席のもとに無事終了しました。引き続き、パーティが開かれ、中川鮮兄弟の司会により開会の行

事の後、ミゴトナ、ウエディング・ケーキにナイフが入られました。「モルモンの結婚と系図」というテーマで青木サダ姉妹がお話をされ、親戚のお話、最後に新郎新婦の感謝の辞を最後にパーティのプログラムが閉じられました。会員たちの「オメデトウ」の連続と、励ましの言葉を受けられた御夫妻は、松本駅に車をとばして汽車の旅に出発されました。式場は前々から当支部の宣教師と兄弟によって整えられて、当日は見違える程立派な式場に作り変えられたわけですが、これは支部長はじめ兄弟姉妹の並々ならぬ努力があったわけです。特にオルガンがなくて、行進曲をテープに吹き込む為に、冬の朝寒いのに六時三十分にはオルガンを奏してレコードなされたハピカン長老の努力等、兄弟姉妹の愛の祝福が遠藤兄弟姉妹の上にあることでしよう。遠藤兄弟はかつて松本で改宗し活潑に支部の為に働き、二年間を宣教師として伝道に従事したモルモンの代表的な神権者であります。また姉妹は最近までMIA、エンサイン・ローレルの教師として活潑に働かれ、集会后に一生懸命に求道者をつかまえては悔い改めを説いて何人も改宗に導いたものです。新居は東京練馬区との事で姉妹が松本支部を去

った後は、火の消えたような気がします。モルモンの家族に祝福あれと支部一同希望いたしております。遠藤御夫妻の上に神様の恵みと祝福がありますようにお祈りいたします。

（松本支部児玉栄治兄弟記）

名古屋支部

(一)

名古屋支部の活動状況をお知らせいたします。

名古屋支部に電話開通(四二一〇) 二人の非専任宣教師聖任さる。

十二月二十四日、上田嘉子姉妹と遠山久子



支 部 だ よ り

姉妹は鈴木西地方部長により地方部非専任宣教師に按手聖任され、神様の教会に奉仕しています。姉妹達の素晴らしい模範とレッスンにより多くの人が改宗するでしょう。多くの人を教え導く上に神様の豊かなお導きとお助けがありますよう心よりお祈りしております
姉妹たち、頑張ってください！

○一月十三日のバプテスマは次のとおり。

三城恭彦（犬山木曾川上流にて）

クワルテットの夕べ

MIAの特別プログラム、四重唱の夕べは一月二十五日、寒い夜だったが、参加者六十二人の多数で、長谷川姉妹司会の下に賑やかに催された。

多くの兄弟姉妹や宣教師、支部長会の面々の、名演迷唱が次々に繰り広げられたが、三浦、青樹両兄弟の合唱がとりわけ美しかった

中村夫妻近況

先にソルトレク神殿で結婚された中村夫妻は、その後いたって仲睦くソルトレク市で新婚生活を営んでおられます。

中村兄弟はユタ大学での激しい勉強の合間にも、親切な会員によってアルバイトに恵ま



れ懸命に働いています。伎美子姉妹は渡米して間もなく父君を失われましたが、今は元気に、夫君の勉学を助けておられます。

彼地からのお便りに

「私たちは貧しいですけれども、信じ、そして助け合いつつ、またアメリカの兄弟姉妹の暖い愛の中に、幸福です」とあります。

どうかお二人とも、神様の見守りの中に、美しい家庭を築いて行かれますよう祈ります

写真は

A. レセプションの折のお二人。

B. お友達から寄せられたプレゼントがいっぱいのお部屋で。

C. ハネムーンワイオミングはヴァンノイ長老の牧場にて伎美子夫人。

可愛らしいお嬢さん達はヴァンノイ長老の従姉妹の方方です。

D. サア、これは何でしょう。ミスター愛知中村兄弟がモデルの一人である名古屋駅前の像

です。

試みに名古屋駅前を南から北に向って走って御覽なさい。駅を指すこの立像の横顔が中村兄弟そっくりなのにくりされるでしょう。

そしてこの道は、かつて伎美子姉妹が日課のように愛車セドリックを駆った道なのです。

東京西支部

○バスケット試合

十三日、東京の五支部による対抗試合があった。西支部の自称スポーツマン川野正彦兄弟を先頭として、九州浪人米村武敏、次期武蔵大学自治会会長松浦考康、日本鋼管からの勧誘をことわりモルモン教会の会員になった学生バスケット会のホープ内山兄弟、かつて明治大学バスケット部の床掃除をしていた菅沢勲、皮肉屋の総大将三原大僧正、故国北海道から急遽自家用飛行機でかけつけた島田邦男、なにも知らない顔をしてなんでも知っている鄭豊雄兄弟と燃ゆる希望と強き光に輝ける若人ばかり八名が、堂々と入場式に臨み、試合前にして質量共に他を圧し、その意気益々あがり、西支部強しの空気が会場に流れた。

しかし、事實は小説よりも奇なりともうして、第一戦の横浜支部に僅少差をもって破れ、無念の涙にくれた。

しかしさて、かのクーベルタンは云った。

スポーツは、出場することに意義があると。

○コーラスの夜

MIAでは、二十五日特別ゲストとして、かの有名な「トリオ・ロス・オンチカロス」をまねきコーラスの夜をひらいた。

○今月のバプテスマ

河原美重子、岩根園技、糸篤忠、大村瑤子藤本かほる、松本マサ子、栗山豊、瀬高修、遠藤昌秀。

西支部の電話番号(四〇二)四〇一〇

仙台支部

一月の支部便りをお知らせいたします。

一月にバプテスマを受けた方、本田よしえ、斎藤きよし、原淵ちよ子、佐藤のり子さんの四名です。

一月二十七日土曜日山形支部の招きを受けて雪の蔵王へスキーに行きました。充分笑いだめする程楽しく面白かったそうので、参加した一人に感想を伺ってみましょう。

「仙台支部は皆様の御存じの様に東北地方

にあります。東北の冬は寒く雪が多い。それは北から南へ抜ける奥羽山脈の山々で仙台支部を含める仙台平野にはそれ程雪が多いわけではありませんが、一度西を見れば雪におおわれた山々を望む事ができます。そこでこの度山形支部の招きによって、去る二十七日かの有名な蔵王にスキーに行く事になりました。これは東北にある支部の特権でもあります。その時の有様を今月の支部便りとしてお知らせいたします。二十七日は土曜日だったので行きたい人は大勢だったのですが都合がつかず、宣教師を含む十人近くの人たちでありました。山形支部も同じ位の兄弟姉妹を交へ、山形よりバスに乗って蔵王に向って一時間ばかり、見渡す限りの白銀の蔵王スキー場につきました。昨日迄は風雪注意報が出ておりました山々でありましたが、当日は良く晴れ渡った天候で、遠く山あいに見られる蔵王の樹氷や近くにそびえ立つ白雪に化粧された素晴らしい眺めに恵まれた蔵王スキー場で思いきり滑ったり、又は転んだり、むしろ多くの素晴しい眺めに恵まれた蔵王スキー場で思いきり滑ったり、又は転んだり、むしろ多くの兄弟姉妹と共に楽しい思出の一日を過しました。帰るに近づきもう一度こようという希望を胸にだきながら。」

福音を学ぶということは私たちにとって大

切なことであります。グループで勉強する時、一人で勉強する時には気づかない点も知ることができ、知識の向上に役立ちます。一九五六年―一九五九年のはじめ迄毎日曜日の夜、聖典研究会が開かれておりましたが、三年程中止されておりました。それが今年の一

支 部

月の第一週目より再開されました。最初の日、何を勉強するか希望を取りました時、四つの標準聖典が出ました。でも求道者や新しい会員には教義と聖約や高価なる真珠は少しむづかしいだろうとなり、聖書とモルモン經にしぼった結果、求道者と新しい会員は聖書を、古い会員はモルモン經という希望になり、結果は圧倒的にモルモン經が多く、今モルモン經を勉強しております。終了前には一つの聖句を暗記し一人づついわせられます。出席者は平均十三名で十代、二十代、中年、年配者と各年代層が集り、老も若きも楽しい雰囲気の中で有意義な一刻を過しております

東京中央支部

卯まで起き上るといふ朝を安息日に迎えて始まった如月、支部長会の第一副支部長に新しく秋本兄弟を迎え、永い間、苦勞されてその重責を果されこの度東京北支部へ行かれ

た遠藤兄弟に替って私達を指導していただくことになりました。

★ ★ ★

二月五日、松本支部から来られて三年余り中央支部で活躍された川上雅子姉妹がハワイのチャーチカレッジに入学される為羽田から発って行かれました。萩本兄弟(Dコース) 深沢兄弟(Eコース) 阿部姉妹(Cコース) 佐藤兄弟(Bコース)とともにAクラスの先生として二年にも亘って教えて来られ、傍らピアニストとして、又その前の週までMIAの音楽指導者として活躍されていた丈に支部の兄弟姉妹の忘れられない存在です。

同じ十二日、中央支部結成以来必らずその姿をピアニストの席にみかけた南城ひろ子姉妹が宣教師として新任地の岡町支部に行かれました。十年に亘って(小さい時から)教会のあらゆる分野で活躍し、最後に扶助協会をまとめて居られた南城姉妹の上に豊かな「みたま」の力のあらん事を支部の一同心からお祈りしています。(どうぞ南城姉妹を迎える支部の皆さん、宜しくお願ひ致します。)

★ ★ ★

二月十六日の夜西支部を出発した一台のバスは京浜地区の兄弟姉妹総勢六十何名のうち

に我が中央支部の数十名を加え、一路藪井沢への夜更けの道をとった。バスの中で騒ぎすぎてのねむい眼を冷たい雪をわたって来る風

に覚まされ、湖の氷にツルリ(スーッとでなく)ステーンとすべる御仁の方が多かった。その中であって鈴木兄弟、高井兄弟の鮮やかなスピード滑走は、我々痛い腰をさす者どもの目をみはらせ、思はず讃嘆の声をあげさせた次第。寒いのと疲れとはりきりすぎに負傷者続出、MIAの奥山兄弟、はりきりすぎでの負傷にこの数週間支部の中が少し静かになっていた様である。入歯が出来て来る頃には又支部の騒音計の針も上ろうと見る向きが多い。・・・

★ ★ ★

二月十日、二十四日と宣教師主催のまことに怪しげな(?)パーティーが開かれ、支部の一同の度胆を抜かされた。とにかく一歩ホールに踏み込むや紙層の如きもの一杯、はて「早く爆発させなさい」と伝道部長の云っている建物に誰か火を放けるつもりかと思いに、あたりより現われた海賊共に『こんばんワ』と握手され後は御想像におまかせ・・・出席者一同笑わされながら宣教師の方々と協力を誓わせられた次第。(Y記)

横浜支部訪問記

渡部正雄



一九〇一年、第五代目の、ロレンゾ・スノウ大管長の靈感により、後に第七代目の大管長となった、ヒーバー・J・グラント長老が最初の伝道部長としてのお召しを受けて、三人の長老たちと共に始めて、この日本の地を踏んだのがこの横浜港であった。そして間もなく、日本で最初の姉妹として六十年に近い信仰生活を続け、現在は高血圧で横浜曙町の自宅で療養して居られる鈴木なみ姉妹の案内で一行は眼下に海を見下す、当時まだ樹木のこもりと生い繁っていた、鷺山に登っ

て、この日本の地を献納されたのであった。そして終戦後、現在のアンドラス伝道部長やブライス副伝道部長方五人の張切った若い宣教師たちがまづ上陸したのもこの横浜の地であり、そして間もなく新小安の秋山姉妹の宅を借りて集會が開かれたのであった。武蔵野兄弟及び現第一副支部長の浅山兄弟は、その当時の熱心な信者で若くてすでに教師をされていた由、また鈴木なみ姉妹もまだお元気で教鞭をとって居られたとか、現西中央地方部長をして居られる鈴木兄弟夫妻の信仰によって結ばれたエピソードもその後間もないと、聞いている。その後支部は、山手の英語学院、富士見ヶ丘女学院、教育會館、婦人會館とほとんど毎年点々と借住いを続けていたことが出来たが、約七年程前に現在の白亜の殿堂に落付くのである。横浜から東横線に乗って白楽駅に近づくと遙か前方の岡の緑の樹蔭に真白な素晴らしい洋館が見えて人目を惹く、前方遙かに横浜港を見下し、右手に靈峰富士を仰ぐ景勝の地、或安息日の聖餐式に出席した求道者に私は誰の紹介で教会に来られましたかとたずねると「いつもあの岡の上の美しい白い建物は何であろうか一度訪ねて見たいとかねがっ思っていて今日参りましたら

このような素晴らしい教会であることを知って喜んで出席させていただいているのです」との答えであった。最初は広過ぎたらしいこの建物も、だんだん信者がふえて狭くなって来たので三年程前に増築して。昨春迄、支部長をつとめられた鈴木兄弟と、ウエルチ長老に導かれて改宗した、七十の坂を越えた、最年長の浜田兄弟のお二人が特にこの増築に骨を折って下さり、現在のような立派にホールも広々となったのであった。けれども躍進する支部の教勢は、聖餐式の出席も百名を突破する有さまで、いつも後方に立並ぶ兄弟姉妹を眺めては現田中健治支部長も、また増築プランに大わらわの様子である。昨年一ヶ年の改宗者だけでも七十名に上り現在二百八十名に近い会員を擁している。昨年はおおみそかの安息日に信仰の御一家、福井兄弟の御夫人福井姉妹初め三人の兄弟姉妹が横浜公園のチャペルセンターでバプテスマを受けて一九六一年度の最後を飾り、新年壁頭、心臓を病んで居られた矢野姉妹が病をおして伝道本部でバプテスマを受けて一時たおれられたが強い信仰を以て無事、閨門を乗越え、めでたく仔羊の群に入られ新春の集いに喜びと希望の眼を輝かして

出席して居られた。

横浜支部躍進の蔭には田中支部長を中心とする若い会員の一致協力と、伝道の権化、エゲレソン長老を先頭とする宣教師たちの目ざましい活躍がある、アーン（真安）姉妹は日本に來られて最初に横浜で働られたようだが着任後わずか二、三ヶ月でシーニヤになられ、既に日本語で説教し、新しい人を見るところで近寄って実に熱心に伝道して居られる。宣教師と会員との間の協力も非常によく行われている。ローマは一日にしてならずと言われるが、六十二年前にグラント部長の献納された地元に、また若い信仰に燃えたアンドラス部長のかつて活躍された地に鈴木なみ姉妹の薫陶を受けた兄弟姉妹たちが次々と支部長会その他の要職に就き、昨春より中央支部で人望厚かつた田中兄弟を現任支部長に迎えて最近一段と飛躍して來たのである。

昨年のクリスマスパーティーには百名以上の参加者があり、主催者の支部系図委員会の兄弟たちは接待に跳び廻っていた。プレゼント交換も時間がなくて、歌を唱って、たらい廻し的に一度に決めてしまった。ホール一ぱいにひろがった各テーブルの上に飾られたデコレーションケーキも実に見事に豪華なパーテ

ィであった。二十四日、クリスマススイヴには六十名程の聖歌隊が済生会病院、新子安の病院最後に妙連寺に戻ってサマリタン病院と二時間余り約五軒に近い讃歌行進を行い中には兄弟姉妹に支えられて歩く人も出来たが無事一人の落伍者もなく、三つの病院の多数の患者さんたちに大変喜ばれ感謝され、すっかり疲れも忘れてしまう楽しくも意義あるクリスマスィヴを過すことが出来た。

東京の各支部と時を同じくしてこの二十日にサーヴィスマンの会員たちをスキヤキパーティーに招待する支部では申込者が予想以上に多く五十名近くだったので、扶助協会の有志たちは喜びの悲鳴をあげ目下その準備に大わらわである。プログラムも福笑い、追羽子お習字などもたくさんで神権者も腕を鳴らして待っている状態である。

子供日曜学校会員たちはクリスマスに、サーヴィスマンの会員たちからプレゼントの靴下をいただいたので会長の牧田姉妹の発意により、千羽鶴を折ってお礼に差上げることとなり一番小さなクラスの子たちまで可愛い指を器用に動かして熱心に鶴を折っている。現在日曜学校は純情の熱血兒岩崎兄弟を会長として土屋兄弟その他の兄弟姉妹の指導に基き

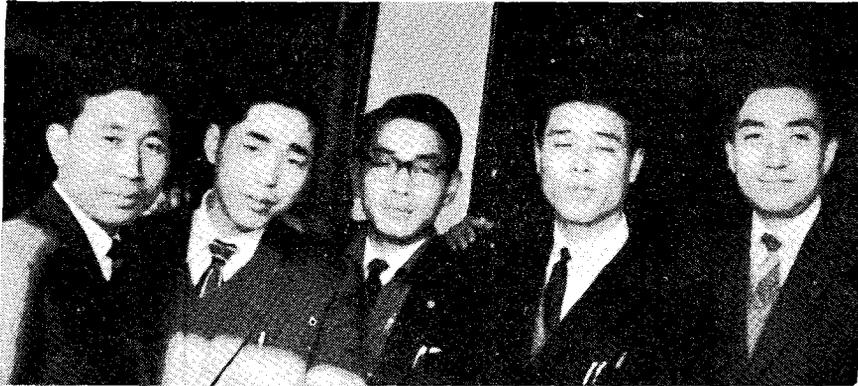
運営されているが、岩崎兄弟は教会を訪れた最初の日に開拓記念日の開拓者のドラマの主役ビルを引受け、天晴れ名技を演じて気をよくしてかその後間もなく改宗し、今夜のクリスマスMIAでもモルモン経典より脚色ニーフアイの名役に扮して多くの会員求道者に感銘を与えた。MIAは新進気鋭の熱血漢吉野富士男兄弟がYMMIA会長、それに常に明朗な信仰の人殿内姉妹をYWMIA会長と名コンビで多くの若い信者求道者を集めている殿内姉妹は前に横浜駅西口の果物屋さんで働らいて居られたが、西口の駅前広場が横浜支部の伝統的な街頭伝道場である為、働きなながらも聞えて来る使者の声に耳を傾けたのが救いの道に入って來られる機縁となったとのことである。

スポーツでは最近、田崎兄弟をキャプテンとするバスケットチームが京浜地区バスケット、トーナメントに初回西支部をかくく抑え次回の猛者、北支部を見事に撃破、最後に昨年度の優者強豪中央支部を倒して遂に栄冠のトロフィーを獲得したことは新春早々誠にめでたき門出と言うべく、聖安息日には田中支部長も輝くトロフィーを壇上に飾って相好をくづして大喜び、若き神権者たちは今年が

んばるぞと腕を捲くり上げて気焔をあげて
いた。

来る二十三日には、横浜支部の骨董品とも
言うべき浅山第一副支部長のめでたい結婚式
が伝道部長の司式により挙行される筈で、新
春の慶事に支部内は喜びに湧き立っている。

第二副支部長の小泉兄弟は、まだ成人式を終
えたばかりの若さ、また改宗後約二年の年月
しかたっていないが、信仰一路の彼の奮進す
る姿は兄弟姉妹の驚異の的となり誠によき模
範者となっている。土曜日には何時教会に行
っても黙々と掃除する彼の姿が見られ、よく
一人であの広い教会堂を何時間も掃除してい
る姿も見られた。若くして重責に就いた彼の
今日あるも故なきにあらざうなずかれ、益
々信仰生活に邁進されるよう、また多くの若
い兄弟姉妹もこれに見習って前進し、本年も
支部が昨年倍して躍進の一途を迎えるよう心
から祈る次第である。





ヤ ン ガ ー ゼ ネ レ ー シ ョ ン

若い人々によせる

佐藤 栄子

(東京北支部)

私がこんなことを書くのは始めてかもしれないね。でも今日は少し若い人たちと、そう私もまだ若いと思っているんですよ。でも、もっと若い人たちと話し合ってみたくなりました。私もごく若い頃この教会を知りました。あの頃はまだ高校の一年生頃でしたでしょうか。M I A だけ出席していた私がある日何を思ったか急に日曜学校に行ってみました。雨あがりの午後(当時前橋にあった日曜学校は午後からでした)真赤な太陽の口を受けて赤くキラキラかやいていた宣教師の頭が窓からそっとのぞいた私が一番先に見たものでした。私は瞬間、アッノキリストが説教していると思ったのです。今でも、その時の印象をわすれることができません。そっと窓越しにのぞいた私は、何とも言えない感じにおそわれました。大きなバンガサを手にしてしばらくその人を見ていました。やがて戸を開けて入って行くのがむしようにこわくなり、こそこそと逃げ出して来てしまいました

た。その日から、私は一生懸命良いことをし

ました。そして次の日曜日今度は朝から決心して、時間におくれないように日曜学校へ行きました。キリストに逢っても逃げ出さないぞと、そんな風に勇気を持って出かけて行つたのです。実際その宣教師はキリストに良く似た人でした。と言っても私は実際にキリストを見たわけでなく、幾つかの絵によって印象づけられたキリストの像ですけれどね。私はそれ以来、現在まで日曜日とMIAは欠かさないように出席して来ました。私はこの十二年間日曜日とMIAに顔を出さなかったことは十の指より少いでしよう。私をそんな風にさせたのは、周囲からの強制でもなく、また他人への意地からでもなく勿論私の信仰の強さでもありませんでした。私が窓越しにのぞいた時の光景のあまりに強烈だったためです。あの雨あがりの午後の陽を受けて立っていた人、「キリストが説教しているノ」この印象があまりと強かったのです。私は勇気を持ってキリストの前に出よう、キリストの前から決して逃げ出さないぞ、そう言った私の決心は今も変わらないからです。一度目にすこ

すごと負け犬のようにパンガサをさげげて逃げ帰った私の哀れな姿が今も私を勇気づけるの

です。

早いものです、私がそんな風にして過した年月は。今では私の姓も変り、一家の主婦として買物カゴを下げて夕焼けの道をいそぐようになりました。心から感謝していることは私の主人はイスラエルの長老であると言うことなのです。

さて、私たちは二人共教会の仕事を持っており、私の仕事の関係上若い人たちと接する機会が沢山あるのですよ。そんな時、こんな言葉を度々聞くのです。「教会のやっつことは、なっちゃんらん、十年一日の歩みだよ」とか、「やっつてることがまるでマンネリなんだな、これじゃあくさつてしまふ。」「何でも頭から抑えようとする」と言うようなことを。……

私は今、ペテロの性格について話したいのです。恐れを知らない、誠実な、信心堅固な謙遜な、人々を教え、祝福する彼のつかれを知らない熱心さは、彼の生涯において輝かしい性格でした。ペテロがイエスに会って「ケバ」(訳すると、岩)と名づけられねばならないと言われたことは多年を経てペテロ自身にもわかりませんでした。然し長年の間に満たされた、驚異の経験は、ペテロをして、

イエスが彼に望まれた「岩男」になるに役立たばかりでなくまたキリストの教会の偉大な指導者、首席使徒にしました。この岩の性格は一時に形造られなかったことを思い起さねばなりません。それは徐々に成長して行つたもので、御存知でしょう、イエスがどんなにその形成を見守り、ペテロの弱点を意見し、彼の力をほめ、彼を繰返し繰返し、人を漁る仕事に、真実に留まっているように力づけたかと言うことを。しかもそのイエスの教えこそ、アダムの時代から十年一日の如く変ることのなかった神の教えに外ならないのです。いかなる聖句も神の御心なくして変えることのできないように、いかなる、教会の教え、方針も神の予言なくして変えることができないのです。こんなお話がありましたね。

そう、ルダより程遠からぬ所にヨッパの街がありました。そこに、誰れからも愛された非常に良い婦人がおりました。彼女の名前はユダヤ語でタビタと言って別にギリシヤ語ではドルカスと言いました。二ツの言葉ともカゼルと言って鹿に似て美しい動物の名前でした。タビタは心がけの美しさと同よう容姿も美しかったそうです。そして会う人ごとになぐさめと幸福とをあたえることに時間をつぶ

していたとのことです。貧しい人に会うと、自分で作った着物を施し、温かい食事をあたえて帰しました。こんな彼女がある口病氣にかかり大勢の友だちらが彼女の容態を心配するようにになりました。病氣が悪化して彼女に死が訪れた時、全ての人は悲しみました。

特に生前彼女が始終なぐさめていた寡婦たちは悲嘆にくれました。丁寧に体が洗われ、二階の部屋に運ばれましたが葬式は行われませんでした。と言うのは、幾人かの友人は、使徒ペテロがルダに來ていると言うことを聞いたからでした。そして二人の者をペテロの所にさしむけ、「どうぞ、ためらわずにすぐやっ来てください。」と言わせたのです。ペテロは彼らの願いを承諾してただちにヨッパにやっ来て来ました。ペテロがやっ来た時タバタを囲んで寡婦たちは彼女の徳をたたえ唄んで泣いておりました。ペテロが彼の主がイエロの小さい娘を甦らせたように、ひざまづいて祈り、タバタに向って「タバタ起きよ」と言いました。甦生の最初に現われたことを聖書には「彼女眼を開き」とあります。タバタは自分の友人たちではなく、首席使徒のペテロを見てどんなに驚ろいたことでしょう。そしてどんなに感謝の意を現わしたことでしょう。

ペテロは手をあたえて起こし、他の聖徒と寡婦とを呼びました。この奇蹟はヨッパ中に知れ渡り、その結果、真にたくさんの人々が主を信じたと言うことです。

己れの眼を持って奇蹟を見た時、多くの人は神の力の偉大さを悟るでしょう。「我が前にしるしをあたえよ、さらば信ぜん」と言っている人は多いことでしょう。しかし、次の聖句をわすれてはいけません。「もし彼等がモーセと予言者とに耳を傾けないなら死人の中からよみがえってくる者があつても彼等はその勧めを聞き入れはしないであろう」また、「信仰はしるしによりて來らず、しるしは信ずる者に伴いて來るなり」

さて、私かなぜこれらのお話を若い皆さんの前にしたかと言うことは、ある一部の若い方々が教会の方針や指導者の勧告に対して心から支持していないことを知ったからです。十年一日の如き教会の教えも、マンネリズムのように感じられる運営方法も、その時代に必要としてあたえられた啓示以外には変えることができないのです。人間であるが故のあやまちは、義しい者の手によって正されるであります。我々は軽はずみに他人を裁くことはできないのです。文化や社会の進歩につれて同じ福音の解く意味は範囲において異ってくるかもしれませぬ。でも導く所の

ものはなんら異っていないと思うのですよ。教会の幹部指導者は、ちょうどイエスがペテロにしたように、我々の形成を見守り、我々の弱点を意見し、我々の力をほめ、我々を繰返し、繰返し人を漁る仕事に真実に留まっているように力づけ導いてくれているのだと考えなければいけませんね。私も、まだまだ若いのですから、皆さんといっしょに働きますよ。力強く歩きましょうね。次の世代がやがて、やって來る時に、安らかな休息ができるように。エネルギーな青春に悔いを残さないように、力いっぱい前進です。今日やるべきことは今日と名づけるうちにやってしまひましょうね。明日の私には明日の仕事が待っているでしょうから。「今日の私は昨日の私よりチョツピリ良かれ、明日の私は今日の私よりチョツピリ良かれ」。

あなたとお話ができて本当に喜んでおりますよ。またいつか機会を見つけてお話ししましょうね。私の家へも時々お遊びにいらつしやい。若い方たちの訪問は私も主人も大歓迎ですよ。しりごみしない人間になりましょうね。意地悪しない人間になりましょうね。誠意のある言動を持つ人間になりましょうよ。これは私とあなたのお約束。(伝道部 M I A 指導者)

私の住所 東京都練馬区春日町一―二六一〇

モルモン経について

畑 中 陽 夫

(小樽支部)

モルモン経は、私たちが知っているように天使モロナイがジョセフ・スミスに授けた金版から、彼が神の能力と聖霊の賜によって翻譯された物です。だから、聖書と同じく神から与えられた聖典の一つと呼ばれ、これらを相等しく使う事によって初めて完全な一つの書物となるのです。またモルモン経と聖書との関係について、エゼキエル書に「人の子よ、あなたは一本の木を取り、その上にユダおよびその友であるイスラエルの子孫のために」と書き、また一本の木を取って、その上に、ヨセフおよびその友であるイスラエルの全家のために」と書き、これはエフライムの木である。あなたはこれらを合わせて、一つの木となせ。これらはあなたの手で一つになる。あなたの民の人々があなたに向って、これはなんの事であるか、われわれに示してくれないか」と言う時は、これ

に言え、主なる神はこういわれる、見よ、わたしはエフライムの手にあるヨセフと、その友であるイスラエルの部族の木を取り、これをユダの木に合わせて、一つの木となす。これらはわたしの手で一つとなる。あなたが文字を書いた木が、彼らの目の前で、あなたの手にあるとき、あなたは彼らにいえ。(エゼキエル書三十七、十六―二十)と記されています。私たちはこの一年間、日曜学校で少なくとも学び、研究してきたこの古代住民の記録であるモルモン経に、もっともっと親しく交わらなければなりません。

天使モロナイは、これらの聖典を真実かどうかと、主に祈りつつ読む人々に対して、彼は、「聖霊の能力が読者に、この本は真に神の子供たちに対する神の言葉である事を知らせるであろう」と約束をあたえてくれました。また幾人かの人々はモルモン経をモロナイの指示どおりに読んで、確かに彼の約束が成就された事を認めています。私たちもいっも良くこの聖典を読んで、すばらしい課題を学び、研究し、約束された祝福を受けられる

だけのふさわしい人間となるよう努力すべきだと思えます。これらの言葉、すべてイエス・キリストの御名によって……アーメン。

証

藤 江 亜 子

(金沢支部)

毎朝家を出る度、私はお父様に感謝します朝のすがすがしい美しさを。この頃では、雪は私たちをすいぶんこまらす反面、なんと美しいものだろうと感動します。そして人間にとって苦しいものの中にも美を与えて下さるお父様に感謝します。お父様の愛ははかり知れません。私は私をこの教会に導いて下さったお父さまに本当に感謝しています。そして末日聖徒イエス・キリスト教会が真の教会であることを証します。

この頃になってようやくお父様への道はずいぶん細くて遠いということを持って感じるようになりました。その度に、さあ勉強しなければ、とふるい立ちます。勉強することは大きな喜びです。私の今なすべきことは勉強であると思っています。そして立派なモルモンの人々に成長したいと思えます。

この証をすべてイエス様の御名を通していたしました。アーメン (一七才・学生)

第一長老定員会 日曜学校ガイド 子供の日曜学校ガイド

= 4 月 用 =

第一長老定員会

「地方部神権会」

各地方部は、三ヶ月毎に一回、地方部神権指導者会に続いて地方部神権者大会を開くべきである。この時、出来るなら伝道部視察中の教会幹部の出席を願うべきである。

地方部神権者大会には、アロン神権者ならびにメルケゼデグ神権者、およびまた神権を受けていない男子の会員は、総て出席するは

ずであつて、この時兄弟たちは、各自の義務や責任を教わり、各自の召しを、全力を尽して遂行し、信仰と献身とを益々強化するようはげましを受けることが出来る。

地方部の神権者に関する正規の事務は、これらの集会で処理すべきであつて、その中には提議を受けている按手聖任、即ちメルケゼデグ神権の中の長老の職に按手聖任することに關連して、承認を得るために姓名を提出する事を含んでいる。これらの集会がアロン神権を持っている年若い神権者たちに興味をわかせ、また利益があるようにするため、特別な注意を払うべきである。この時、神権者の兄弟たちによる合唱があるように勧める。

日曜学校ガイド

四月日曜学校練習の讚美歌

一六番「主よわれと共に」

四分の三拍子ですが拍子がとりにくいですがから注意して下さい。休止符と符点音符とよく憶えて拍子を楽譜通りにとれるようにしてからそれに言葉をつけるとよいようです。

各段の出だしの音は全部一拍です。この音はあわててうたうと短かすぎてしまつて途中から拍子がくずれて行きますから充分気をつ

けて下さい。有名な歌（よくうたわれる歌）の一つですが旧讚美歌集になつたのであまりうたわれませんでした。これからは合唱団にクワルテットにどんなに使うようにしましょう。

来月の歌は「一五三番」です

復活祭プログラム

我々の救い主イエスが死に、葬られて三日目に復活なされました。その復活祭は「春分日（三月二十一日）以後の満月の次の日曜日」と定められております。今年は四月二十二日が主の復活を祝う復活祭です。寒い冬が過ぎ暖かく希望に満ちた春を迎えるこの一日を、より有意義に過すために各支部の会長会の皆様もこの日のプログラムをいろいろと考えておられると思います。ご参考までに伝道部の提案を次に書きます。

テーマ・わたしはよみがえりであり、命である。（ヨハネ十一〇二五）

敬虔なる前奏

開会の歌

挨拶

聖句朗読

斉唱あるいは聖歌隊

話

支部長

ヨハネ十一〇二五、二六

二二

わたしはよみがえりであ

り、命である。(約七分)

I 最初のよみがえり(次の聖句参照)

A 復活

マルコ十六〇一―四、マタイ二十八〇

二―七、ヨハネ二十〇十一―十八

B イエス、マグダラのマリヤに現われ

るヨハネ二十〇十一―十八

C イエス女達に現われる

マタイ二十八〇八一―十

D 兵卒たち買収される

マタイ二十八〇十一―十五

E イエス、エマオに向う弟子たちに現

われる。ルカ二十四〇十三―三十二

F イエス、トマスが不在のとき弟子た

ちに現われる。ルカ二十四〇三十三―

四十八、ヨハネ二十〇二十一―二五

G イエス、トマスがおるとき弟子たち

に現われる。ヨハネ二十〇二六―二九

II 復活祭の意義

A 神の愛と慈悲

B 罪のゆるし

C すべての人が復活できる望み

D 絶えず進歩することができる機会

分級

各クラスは復活に関する適当なレッスン

を留意する

閉会の歌 九三番

子供の日曜学校ガイド

四月子供日曜学校練習の讚美歌

子等は歌う一九番 「閉会の歌」

沢山閉会の歌はありますがこれは言葉も旋律も非常にわかりよいので子供達のために適当だと思えます。

楽譜は簡単ですが言葉と合せる時は一つの音に二つの言葉の入る時など注意して下さい一節ぎりありませんので集会の時は二度歌っても結構です。来月の歌は「三六番」です。

イースター 特別プログラム

早いもので、四月二十二日は、イースターです。楽しいプログラムを作製しましょう。

各支部で予算がございましたら、小さな紙の籠にでも、お菓子、色付卵等を盛り合わせて、プレゼントするのも良いでしょう。どこかに隠して、さがさせるのも面白いものです。

なお、当日のプログラムを一応御参考までに組んでみました。皆様の支部に於て、有意義なイースターを過ぎますように。

プログラム

前奏曲

閉会の歌 1番(神様ありがとう)

閉会の祈り 主の復活を感謝する

聖句朗読 ヨハネ 十一〇二十五

お話(教師、或は責任者にお話して頂きた

い)

テーマ『イースターは我々にどんな意味

があるか』

要点 a イエスが死後、復活した事

をおぼえる。

b イエスは天の御父の下に戻

った。

c イエスは最初に復活した方

である。

d 我々も、またイエスと同様

に復活する。

e 我々は再び生きる事を感謝

している。

全員合唱 四〇番(主のよみがえり)

(参考聖句は昨年、聖徒の道三月号に、大変くわしく載せてありますから御覧ください)

分級 各クラスで、イースターの意味をよ

く子供達に理解されるよう教え視覚

教材等を使って教えてください。

閉会の歌 一一番(我に従え)

こどものためのかけえ

むかしむかし、ある森のなかに一びきのうさぎさんが住んでおりました。このうさぎさんは大そうこわがりだったので、うさぎさんのなかまたちはおくびょううさぎさんとよんでいました。

あるゆうがたのこと、森のこかけのくさのねどこでねころんでいるとき、このおくびょううさぎさんはとんでもないことを、おもいつきました。

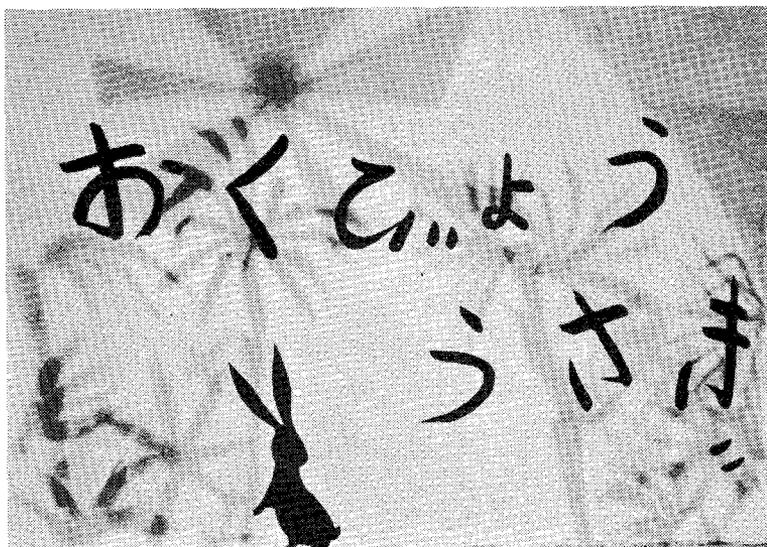
「もし、ちめんがいまきゅうにこわれだしたら、どうなるんだろ、みんなふかいふかい地めんの下へおっこちちゃう、そしたらどうしよう、……」。

そうおもうとほんとうに、地めんがすぐにこわれそうなきがしてきました。木のはがカサコンおとをたてました。おくびょううさぎさんは、だんだんこわくなってきました。

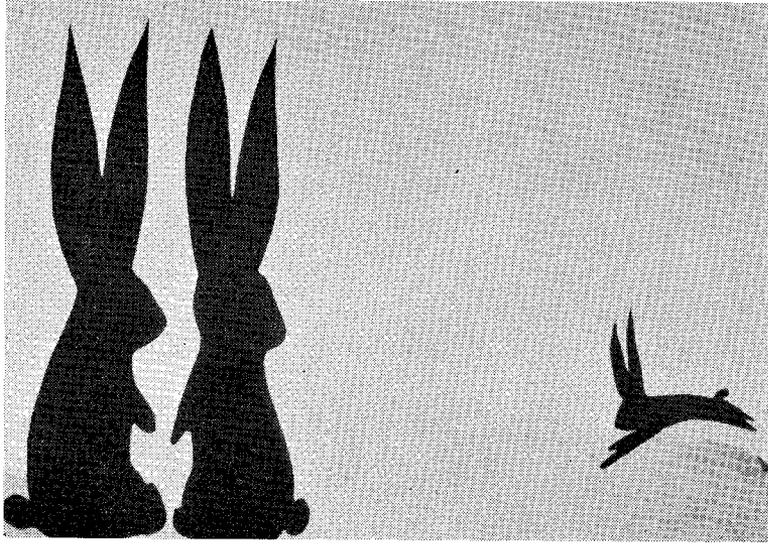
耳をふせて、そおっとあたまをあげると、きよるきよるあたりをみまわしました。

そのときです。ガサガサッと大きなおとがして、おもい木の実がひとつ、すぐ上の木の枝からおちてきて、ドスンと地面にころがり

ちゅうおうしふ こどもにちようがつこう



せいさく	たかしま	みねこ	しゃしん	やましま	けんじ
〃	なかやま	すみこ	ふんとえ	さとう	やすお



ました。

★
「あっ、ほんとうに、地面がこわれたんだ、さあたいへん。」
というとおくびょううさぎさんはピョンとびあがって大あわてでにげました。

まわりであそんでいたほかのうさぎさんたちはそれをみつけて、
「いったい、どうしたというんだい、」

「ちめんが、こわれただよ、スゴイおとがしてこわれてるんだから、はやくにげないとおっこっっちゃうから。」

「えっほんとうかい、オーイ、みんなたいへんだぞはやくにげろ……」
さあ、うさぎさんたちは大あわて、おくびょううさぎさんといっしょに大いそぎでにげました。

★
わあわあ、びよんびよん、とんだりはねたり、ころがったり、大さわぎでにげました。

はらっぱには、いのししのおじさんのおびりいねむりをしていましたが、あたりがうるさくなったのでおきあがってみました。

「はてな、うさぎのやつなんでかけずりまわってんだろ、」そうおもうと大こえでどなりました。

「オーイ、ちびたち、なにさわいでんだア」
「なにィ、ちめんがこわれたしたんだよ、そんなとこでねほけて

ると、地めんのそこへおっこっちゃ
うから。」というとどんだんにけて
いってしまいました。

「ええっ、そりゃた
いへんだ。」とい

のししのおじさ
んもおきあが

ってはし

りだしま
した



★

それをきいていた、くいしんぼのお
さるさんも大あわてで木の上につけあ
がって、りすさんに、もがもがおしえ
ました。

りすさんはきくがはやいか、まりの
ようにころがってしかさんの所にいき
ました。

のほらの下の方では熊のおばさんと
三匹のこぐまたちがころころあそんで
ました。

少しとおくにいた兄さんぐまがはし
ってくるしかさんからきいて、お母さ
んぐまにいました。

「地めんがこわれたしたんだって、
みんなにげるから、ほくたちははや
くいかないよ、たいへんだって。」

「ほう、それじゃはやくいころ。」
いつもおちついているくまのおばさ
んもこぐまをつれてあるきだします。

それを見て狐くんもおおかみさんも
ほらあなからでてきてかけだしまし
た。

★

森のは

ずれの方で

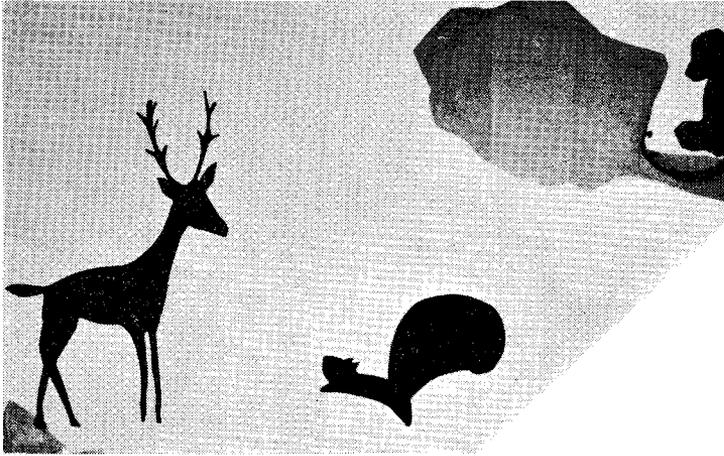
おいしい木のめをた
べていたぞうさんは大
いそぎで伸よしの水牛
さんをおこしに川の方
へ走っていきました。

水牛さんのそばでウ
トウトしていたのろまの

カメさんがヒヨイと首を
のばしてみるとドシンドシ
ンとぞうさんが走ってきます。

びっくりした、カメさんと水
牛さんは三人そろって走りだし
ました。しかし、





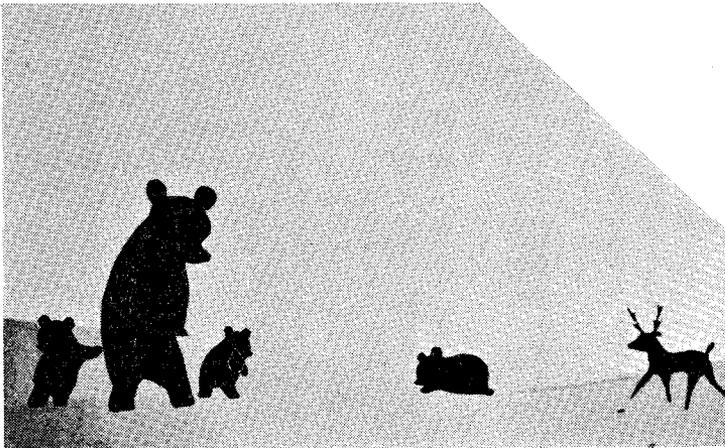
「まっけてくれようー」と、
 のろまのカメさんがいくらさけ
 んでも、アワテテいるぞうさん
 と水牛さんはカメさんより先に
 いってしまいました。

★

山のふもとにはとらさんがす
 んでいました。とらさんはもの
 知りでしたから、たぶんうそだ
 ろうとおもって、みんなの走っ
 ていくのをぼんやりみていまし
 た。

しかし、みんなから少しおく
 れていつもおちついてる熊の
 おぼさんと足の少しわるい狐く
 んにのろまのカメのおじいさん
 までがやってきて、

(つづく)

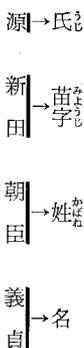


系図に関する資料(其の一)

新撰姓氏録 解説

上・中・下

現在では氏名の氏と苗字とは殆んど区別が無く誰でも同じものであると考えて居りますが元來は、氏はうじと呼び苗字とは別のものであります。例えば新田義貞の場合、彼の氏は何であつたかと思しきと、新田氏と呼ばれるから、氏は当然『新田』であると思われ、また姓も『新田』であり、苗字もまた『新田』であると私達は考へて居ります。然し義貞は『足利高氏』と共に『源頼朝』の同族ですから、本來の氏は源氏であり、彼の場合は、正しくは源新田朝臣義貞と呼び



右のように分解されます。国史に於ける神代には、天兒屋根命、大國主命の如く、名前だけで氏というようなものはありません。それは名前だけで他の神々と区別がつくからですが、だんだん子孫が増加して参りますと、一つの系統を他の系統から区別し、一つの家族を他の家族から区別する必要が生じ、その為、それぞれ、独自の名称すなわち氏を唱えねばならなくなりました。

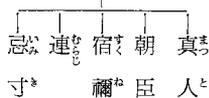
天兒屋根命(の後裔) 中臣氏 藤原氏
 太玉命(の後裔) 忌部氏

天忍日命(の後裔)

大伴氏

のような具合です。太古の日本の氏族社会は皇室(天皇家には氏が無い)を中心として、これらの氏族に依つて形成されて居りましたが、社会生活が進歩してまいりますと、それらの「氏々」に階級を付けて尊卑を分つ必要が生じて参りました。このようにして生じたのが姓でありまして、

姓の種類



其他となつています。

これらの氏姓を整理編纂し、嵯峨天皇の御代に作られたのが「新撰姓氏録」であり、編者は、萬多親王、外であります。原著は、目録を入れて、実に参拾卷巻より成つていまして、一千一百八十二の氏を、分類して載せてあります。

然し残念な事には、現在日本に残っている「新撰姓氏録」は、原本を省略したものしかありませんので、今ここに皆さんのお目に掛けるのは文化九年に刊行された、大阪の心齋橋の本屋から出版されたものも、又そうであります。これも、今より約百五十年前の出版物でありますので珍らしい書物であります。

全文が漢文で書いてありますので、読み辛い事はやむを得ない事です。明治年間に発行された「新撰姓氏録考証」栗田寛著はこの本の訳註本です。この訳註本も今日ではナカナカ手に入らない方です。



MIA

リーダー

★お知らせ★

以前伝道部特別発表表としてMIA予算について記事が載りましたが、伝道部長からの手紙がとどいていない支部がありますので、あらためて伝道部長より手紙が行くはずですが、また納入期日が三月迄となって居りましたがこれを六月迄と致します。どうぞ各支部におかれまして御協力下さいますようお願い致します。なお其の件に関して質問がありましたのでお答え致します。

伝道部MIA資金とは何に使われるものがあるかと言う御質問と、補助組織が独立して資金を作ると言うことは扶助協会だけではないのかと言う御質問です。

まず後者の方から御説明申し上げた方が良くおわかりと思います。支部長会の方々はすでに御承知なのですが各支部の予算はどのように組立てられているかと言うと、一部、二部と言う二つの部分から成っています。一部は伝道部より援助されますお金で二部に属するものは各支部で捻出されねばなりません。二部に入りますものは各補助組織の予算等です。これと同ようなことがこの北部極東伝道部にも行われるわけです。一部に属するもの

に対してアメリカ中央管理会よりの援助があり、二部に属するものは本伝道部で作らねばなりません。二部に属する中に各補助組織が入ります所が今迄本伝道部が小さかった為に補助組織の中央委員会もなく、亦各補助組織の予算も伝道部計費として全面的な援助を受けていたわけです。そこで今回発展した本伝道部に於いて正しい予算を組み立てようと決定致しました。その結果補助組織の一つであるMIAもその予算をアメリカからの援助でなく我々の手で作り出さねばならなくなつた次第です。これはMIAのみにかぎらず日曜学校系図会等もそうです。(もちろん扶助協会もですが、すでにそれを行っています)日曜学校は十円献金がありますので過去からの蓄積もいくらありますがMIAに於いては、現在本伝道部では予算、0.0.にあるわけです。そこで至急予算を作りたいと思つてお金の使われるかと言うことですが――

まずMIAに関するいっさいのパンフレットの作製費用、テキストに関する費用、各種の賞状、賞品、アメリカ中央管理局より翻訳用にとりよせる参考文献等、毎年発行されるカレンダー費用や、交通費等々です。今後、

増々発展して行くM I Aにあって、本伝道部としても色々と出版したいパンフレットやまた是非行つてゆきたい種々の計画もありますそれ等の為にやはり予算が沢山必要になつて行くわけです。他人におんぶせずに、決められた通りの方法で我々M I Aも歩いて行きたいと思つています。他の国のM I Aもやつてゐることで、我々の伝道部でも出来ると思つて信じています。各支部長の方々と並びに各支部M I A会長の方々の御協力を望んでやみません。

「エンサイン・ローレルの手引」(定価二百円)とMメン・グリーナーのテキスト「生活の目標」(定価百五十円)を是非クラスの方々の人々が持つように進めて下さい。注文はお金をそえて各支部長を通して麻布広尾町の伝道本部迄。

演劇クラスの方々に

伝道部に「M I Aドラマ集」があります。

脚本は、エデス・スミス作「愛要求の座り込み」、アレイ・ホエ作「その通り」、ポール・S・マッコイ作「犬のトリック」、スタユリ・ルソン作「気狂い帽子商」、作者不明の「勇敢者の真似」と「退去」があります。最後の「退去」以外は皆短篇ですが、面白い作

品もあり教会の歴史的なものや西部劇風のものもあります。貴方の支部の演劇部で使つてみて下さい。定価は五十円です。尚二月号紹介すみの演劇指導者の「基礎知識と脚本集」といっしょに購入されると良いと思つています。定価七十五円。

四月十二日「タレント・ナイト」

四月は桜の花が始まると言われるように、自然の開花と共に人々の心もなんとなくうきうきしています。

この夜は楽しい計画で沢山の友人を迎えましょう。この夜の計画の為に会長はその責任に当ります。また各グループの指導者の方々に委員になっていただくの良いでしょう。M I A役員全員で集り、計画会を持って下さい。自分の支部の中に、どんなタレントを持つてゐる人がいるかリストを作つてみましょう。誰れにも披露したことのないタレントを持ち合せている人が居るかもしれないし、内緒で習ひ覚えた芸を皆に見せたいと思つてゐる人がいるかもしれません。タレントの範囲は広いですから積極性の欠けている人にもこちらからお願ひして是非出演して頂きましょう。いつも顔ぶれを見ると、相手変れど主

変らず、の如くステージに出て来る人の顔が同じでは一寸がっかりしますからね。日頃M I Aのステージをふんだことのない人を選びましょう。司会者は会長がやつても良いですが司会の方法も一つのタレントですから、誰か上手な人がいたらお願ひしましょう。

(但し開会行事が終つてタレント・ナイトのプログラムからです。)その場合一人ではなくても、コロンビヤ・トップ・ライトのように二人で行うのも面白いです。誰か司会して誰か出演するかということがきまつたら、役員は手わけして宣伝します。ポスターや簡単なプログラムを印刷したチラシ等を作製しましょう。支部内で若い人ばかりでなく年輩の方々のタレントも紹介しましょう。

貴方の支部で誰れも知らなかつたタレントが数々紹介されて愉しいプログラムが持たれることでしょう。

提案事項

貴方の支部に於いて各クラスの指導者(活動も含む)とM I A会長会との連絡をどのようにとつておいででしょうか。私共が訪問する支部に於いて時々其の夜になって「先生が急にお休みなので今夜何をするのか、わからぬので」一体今夜の演劇グループの為

に何を留意するのか、まだ先生が見えてないので……」等と言ってあわてていることを見かけます。各クラスのその日にやることを会長会の人々がわかっていないからです。時間におくられて来た先生があわてて、レコードをそろえていることもあるし、テープレコーダーが必要なのにMIAがはじまってしまっ

てから、会場から遠く離れている宣教師の家迄取りに行ったりしている場面に出くわすと、うんざりして、その会に来た多くの人が会の不備や役員に対して不信の念を持つことでしょう。こんな会に出席していると時間の浪費を感じて来て途中で帰ってしまったり、次は来るのを止めようと思うようになるものです。そこで各クラスの指導者は会長会との連絡を密にしていなければなりません。今日は行けないので会長に電話をかけようかしようと思いつながら、忙がしさに追われてとうとうMIAの時間迄に連絡の出来ないことがよくありがちです。このな時のためにも一ヶ月或は二ヶ月前から各クラスの予定表を作製しておくとか会長の人やその夜の司会者が助かります。予定表はクラス指導者が一枚、YM・MIA会長、副会長が各々一枚、YW・MIA会長、副会長が各々一枚、そして書記が

一枚、また他のクラス指導者も各々一枚持つことが望ましいわけですね。その予定表を持って支部MIA役員教師会を毎月開くとすれば連絡があればクラスの先生が欠席したとしても誰か他の役員が代教することが出来るでしょう。また次のような予定表にすると種々のことが助かります。

まず「主題」の所で何月何日に演劇部では何をやるかと言うことがわかります。(もちろん他のクラスのことと同様に……)

次に「活動内容」の所で、細目にわたつてどのようなことをやるか手順がわかります。

「活動の為に必要な材料」を見れば、その夜どのような道具をそろえておけば良いかわかります。ダンスの先生が遅刻してもレコード

・プレイヤーとレコード(出来れば曲目も)が用意されていれば、すぐ出来るわけです。あわてて、自分でそろえなくてもいいわけですね。またこの予定表によって各クラスの使用

材料がわかりますのでお互に同じ日に一つしかない道具を取り合うこともふせげます。お互のクラスの指導者が話し合っ合って違う日に予定を組めば良いわけです。また活動内容によ

って部屋の広さも問題になって来ます。予定表によって会長会はその時になって急に部屋

の変更をしないで開会の時から、部屋の変更を紙に大きく書いて、はり出すことも出来ます。また予定表を見ておけば祈禱会の前に、各クラスの使用材料の点検もすませることが出来る、開会してから道具をそろえるために、立ったり座ったりすることも無いしあわてて買いに行くこともありません。

また一ヶ月或は二ヶ月前に必要な材料がわかりますから、急に留意するよりも、より適切でより有効なものをそろえることも出来ますし、適当な視覚教材のない場合作製することも出来ます、また道具等も、友人、先輩、出身校等の連絡を取る時間も充分あるので、借りることも出来るでしょう。

予定表の右の方に次のようなことが書いてあります。「新しい購入物には*印をつけて下さい。」クラス指導者はその夜の為にどうしても買わなければならないものに、*印をつけるわけです。その印を見て会長はそのクラス・リーダーと相談して前もって購入しておくことが出来ます。其の場になって、あわてて買いに行かなくてもすみますし、間に合わせのものを買うと言う不経済もなくなり、購入すべきものが見つからず、あっちのお店、こっちのデパートとさがして歩いてMIA

Aの開会時間に遅刻すると言うふ始末もなく
 なります。

このようにすれば会長会と各クラス指導者
 との連絡もうまく行きますし、各クラス間の
 連絡もとれます。またクラス指導者のアシス
 タントの方も突然先生の欠席と言う場に立た
 されても、おろおろすることもなくなるでし
 よう。

予定表は一ヶ月前ごとに提出されねばなり
 ません。そうしないなら予定表の意味もあり
 ませんし、何の効果もありません。すなわち
 四月の予定表はおそくても三月の第一日曜日
 の前迄に提出されねばなりません。そして第
 一日曜日の支部MIA役員教師会の時内容が
 検討されればうまくゆくでしょう。

では雛型を記載しておきますから、是非、
 各支部で印刷してこの予定表を使用して下さ
 い。
 (榮子記)

M I A ダンス・演劇 劇案 グループ 月 予定表

1962	月 日	月 日	月 日	月 日
主題				
活動内容				
活動の為に 必要な材料				

購入物には*印をつけて下さい

M I A ダンス・演劇 劇案 グループ 4月 予定表

1962	4月5日	4月12日	4月19日	4月26日
主題	夕 鶴	夕 鶴	夕 鶴	夕 鶴
活動内容	読み合せ セリフの練習 小道具作製	立ち稽古 小道具作製	立ち稽古 リハーサル 大道具組み立て	上 演
活動の為に 必要な材料	テープレコード 大工道具	ステージ使用 大工道具	ステージ使用 衣装大照効 用具果	ステージ使用 大小大照衣 道具・道 具・果効

購入物には*印をつけて下さい。

(雛形)



末日聖徒イエス・キリスト教会歴史料

27

第三部 オハイオおよびミズーリ時代

第十六章 シオンの地とその奉獻

(千八百三十一年)

八、土地の奉獻(つずき)。祈り終つてリグドン長老は立ち上り「われはイエス・キリストより権能を受けたれば、イエス・キリストの御名により、この土地が未来永劫聖徒らと忠実なる主の僕べらのすべてが所有し受けつぐために聖別せられ主に奉獻せられたることを宣言す。アーメン」と言つた(教会記録歴史第一卷一九六頁)。

九、土地の記述。この土地の奉獻をする任命に加えて、シドニー・リグドンはまた「全教会に送るため」その土地に就てくわしく記せと啓示によつて召しを受けた。この記述をする一つの目的は、土地を買い入れるための金銭を監督に納めることにより土地購入の寄附をするよう聖徒たちを激励するにあらつた。このように金銭を納める者にはゆずりの地が必ず与えられる。シオンは購入によつて建てられるはずであつたからである。そうでなければ、禁ぜられていた流血によるほかにそれを得ることはできなかった。シドニー・リグドンが最初に書いた土地の記述は、主の受け入れたもうとこととならず、彼は再び書くように命ぜられた。

十、シオンに現われる将来の光榮。多くの古代予言者はシオンとその光榮について語つた。イザヤは末日に剣をうちかえて「すき」となし、鎗をうちかえて鎌とする日に「律法はシオンより出で主の言はエルサレムより出ずる」とはつきり言つた。さらにまたイザヤは予言して「汝に事えざる国と民とは亡び、その国々は全く荒れず

たるべし。レバノンの栄えは汝に來り、松杉つげはみな共に來りてわが聖所をかがやかさん。われまたわが足を置く所を貴くすべし。汝を苦しめたる者の子らはかがみて汝に來り汝をさげしめたる者はことごとく汝の足もとに伏し、かくて汝を主の都イスラエルの聖者のシオンとなえん。汝さきにはすてられ憎まれてその中をすぐる者なかりしが、今はわれ汝をとしえの華やか代々の喜びとなさん*** ** * * * * *と云った。

十一、神殿敷地の奉獻。八月の三日、ジョセフ・スミス、オリヴァ・カウドリ、シドニー・リグドン、エドワード・パトリック・ウイリヤム・W・フェルプス、マーテン・ハリスおよびジョセフ・コーたちの人々は、インデペンデンスの裁判所から西方わずかの一地点に会合し、そこで末日の大いなる神殿を建てるべき敷地を奉獻した。詩篇第八十七篇の拝読があつて、その場の有様はきわめて印象的であつた。すでに古代の聖見者たちが言つた聖き都シオンの中のここに、律法が地の果てまで出て行く主の宮居が建てられるはずであつたからである。

十二、シオンに於ける最初の大会。千八百三十一年八月四日、コー町のジョシュア・ルイス宅に於てその地で始めての大会が催おされた。この時集つた会衆は全部で三十一名であつたが、その大部分を占めていたのはコーレスヴィル支部の会員であつた。主の「みたま」が会衆と共にいまして彼らは喜びにみたされた。シドニー・リグドンは、聖徒らがシオンに於ける彼らのゆずりの地に定住させられるよう「天の命令に従順なれ」と説教し勧告をした、前に非行があつたために沈黙させられていたザイバ・ピーターソンはこの時へりくだつて告白し悔改めをしたので、全員一致をもつても通り

の地位に復した。またジョセフ・スミスは大会に説教をして、会員は数々の祝福を受けるようその誓約に忠実なれと訓えた。

十三、誠命と約束された祝福。八月七日、西方への旅行中健康を損じていたポリイ・ナイト(ジョセフ・ナイト(初代)の妻)が亡くなつた。同じ日に予言者(ジョセフ・スミス)は聖徒が授かる誠命と祝福について啓示を受け、その中で聖徒らは主の誠命を守れと再び訓えられた。およそ誠命を守るためにこの地に集つてきた者はことごとく祝福を受くべしという言葉をもつて聖徒たちの行動の針路は指し示された。もし生きるならば地をつぐにちがひなく、もし死ぬならば御父の住居において安息を得るにちがひない。主の聖日に、聖徒らはすべての働らきを休んで祈りの家に集り、聖餐をいただいて各自の罪を言いあらわせと命ぜられた(教義と聖約第五十九章)。

十四、カートランドへ戻る。八月九日、ジョセフ・スミスと今や戻るはずであつた長老たちとはカートランドへの帰途につき、一行はセントルイスに向つてミズーリ川を下つた。出発して三日目、一行はこれらの川筋に共通ないろいろの危険に出逢つた。マクイルウエインス・ベンドと呼ぶ場所、ウイリヤム・W・フェルプスは権能をもつて川の面を乗り来る「破壊者」を白日の示現中に見た。次の朝、予言者ジョセフ・スミスはフェルプス長老の示現を確認する啓示を受けたのである。

十五、水の上にある危険。主はこの末日の時代に水の上にある大きな危険をジョセフ・スミスに啓示したもうた(教義と聖約第六十一章参照)。

「見よ主なるわれ、始めには水を祝福したりしたが、末の世に於

てはわが僕ヨハネの口によりて水を咀いたり。この故に何人も水の上にて安全ならざる時代来るべし。***主われに命じられたば「破壊者」水の上に浮ぶ。而してわれこの命を取消さず」と。その上に心の清い者のほか何人もあえて水を渡って行く者のない時代が来るにちがいないと言ひ、長老たちは信仰を失なわないうよう川を行く以外の方法を旅をせよと勧告をしたもうた。

十六、シオンへ遣わされた目的。 八月二十七日、ジョセフ・スミス、オリヴァ・カウドリ、シドニー・リグドンの三人は、ほかの長老たちがすでに行っているカートランドへ到着した。一行が遣わされた目的はすでに成就していた。すなわち彼らがミズーリへ行った目的は将来シオンの市が建つべき敷地の位置をはっきりと知り、その地を「聖徒のゆずり」として奉獻し、また神殿建設の地点を選ぶことであつた。

その地のにこるはずであつた者たちへは、彼らの守るべき義務を教え、彼らがその地に於て支配されるべき誠命と、彼らのゆずりの地ならびに後から来るはずの聖徒らを安全に保護するための誠命とを与えた。

第十七章 「誠命の書」―「種々の光栄」の示現

―ハイラムに於ける暴動

(千八百三十一―千八百三十二年)

一、シオンについて知りたい聖徒のねがい。 兄弟たちがミズーリから帰つたあくる日の八月二十八日は日曜であつた。この日「みたま」に満ちた集りが開かれ、その席上兄弟たちはその働らきの報

告をした。その日に取り扱われた日程の中に、オリヴァ・カウドリを「教会員の支持の拳手と神の命とによつて」シドニー・リグドンが大祭司の職に按手聖任したと記録に誌してある。オリヴァ・カウドリは六月大会が開かれた時にミズーリに居たが、そのおり最初の大祭司たちが按手聖任された。

聖徒たちが、シオンに関すること、すなわちそこに土地や彼らのゆずりの地を買うことについてもっとよく知りたいと切にねがっていたので、予言者ジョセフ・スミスは主に何つて啓示(教義と聖約第六十三章)を受けたが、中にはその地において聖徒らが艱難と迫害を受けることがあらかじめ表われていた。教会員は主の誠命を守つていなかった点を再び警告され戒しめられた。ほかにも仰せになつたが、主は次の通り、

「さてわれ誠に汝らに告ぐ、われ先に言いし如く、われ汝らにわが意を知らせんと欲するに、見よ、われ汝らにわが意を知らするに誠命を以てせず、そは汝らのうち誠命に従いて守らざる者多くあるを以てなり。されど、わが誠命を守る者にはわれ王国の奥義を示さん。而してこれは彼の中にて生ける水の井戸となり、生ける水は湧き出でて永遠の生命とならん。さて見よ、主の聖徒にかかわる主なる汝らの神の意はかくの如し。すなわち汝らはシオンの地に寄り集るべし。されど混乱を生じてこれが疫病を起さざるよう急ぎて事を為すなかれ。見よシオンの地、主なるわが手の中にこれを保たん。さりながら主なるわれは、カイザルのものはこれをカイザルに返す。この故に、われは汝ら土地を購いて以て先んじて世の人々を制し、また世の人々に対して権利を保ちて世の人々の怒ることなからしめんと欲す。そはサタン彼らの心を動かして汝らに向いて怒らし

め、血を流すことを為さしむればなり。この故にシオンの地はただ購入によるか然らずんば血を流すことによるか、これらのことによりてのみこれを得べきものとす。この他にゆずりの地汝らに無し。もし土地を購入によりて得るならば汝らは幸福なり。もし血を流すことによらば、流血は汝らに禁ぜられしところにして、見よ、敵は襲いかかりて町より町、会堂より会堂に汝らを苦しめ、ゆずりの地を受くるに堪うる者はほとんどなからん。主、われは悪しき人々に對して怒り、地に住める人々には今わが『みたま』を与えず」とはつきり仰せになった。

二、エズラ・プースの背教。千八百三十一年九月、ジョセフ・スミスはカートランドの東南約四十五キロに在るオハイオ州ポルテージ郡ハイラムへ家族を連れて移り、ジョン・ジョンソンの家に住み始めた。このころエズラ・プースが教会を去った。彼はさきに大祭司の職に按手聖任されており、ミズーリへ旅行したことがあったが前から反抗的であった。この教会へ入る前はメソジスト派の牧師であったが、奇蹟が行われたことよってバプテスマを受けたのである。それ以来彼は奇蹟を行うことよって人々を信じさせようと欲し、また人々をなぐつてまでも、また強制的な手段を用いてまでも人々を信じさせようと欲した。教会を去つてから彼は真理に反對する多くの記事を書き、これを「反モルモン」の本の中で発表した。

三、印刷機の購入。オリヴァ・カウドリとウィリヤム・W・フェルプスが教会のために印刷をし書籍や書き物を刊行するよう召しを受けていたので、印刷機を一台購入する必要があった。従つてウィリヤム・W・フェルプスは、ミズーリへの帰途シンシナチを訪

れ、この目的のため印刷機を買うよう指令を受けた。この印刷機はインデペンデンスへ運ばれ、そこで「イーヴニング・エンド・モーニングスター」と題する月刊紙を印刷することとなった。これが当教会に於ける最初の出版物であった。

四、聖書の改訳。ハイラムに住んでいる間に、ジョセフ・スミスはさきにフェイヤットで始めたがこれまでほかにいろいろ為さねばならぬことがあったため主の命により延びのびになっていた聖書改訳の仕事に従事した。すでに同じくハイラムに居住していたシドニー・リグドンはスミスのために書き役をつとめた。やがて予言者（ジョセフ・スミス）は一つ一つ題目をとりあげて聖書を吟味し、啓示によつて導かれるままに改訳をした。この仕事はついに完了しなかつた、というのは後年ノーヴーに居る間に改訳し終ろうと思つたが敵のために中断されたからである。それにもかかわらず、解り易い貴いところが多く啓示をされて多くの問題に大きな光明を投げている。

五、十一月の特別大会。オリヴァ・カウドリとジョン・ホイットマーがさきに割り当てられていた任務に従うためミズーリへ行く任命を受けたので、二人が発発する前に、手配をする必要があるような事を考慮するために千八百三十一年十一月一日に特別大会が召集された。

メルケゼデク神権

「生徒のために提示した要点」
第九課 月 日

読書教材

ニーフアイ第二書、十二―三十三
章(百三十七―二百頁)

レッスンの目的

(イ)モルモン経にのっているイザヤの言葉と旧約聖書にのっているイザヤの言葉を比較すること。

(ロ)イザヤの言葉についてニーフアイの行った註釈を研究する。

(ハ)福音の中にあるいろいろな教えに関するニーフアイの教えをしらべてみる。

読書教材の簡単な内容説明

この比較的長い読書教材の中には、イザヤの書いた十三の章とこれらについて行ったニーフアイの註釈とがのっています。ニーフアイ第二書の終りの部分には、ニーフアイの別れの証詞と共に、大切な教えと予言が含まれています。ニーフアイの行った教訓と、末日に起る出来事に関する予言とはとくに注意をして下さい。

読書のときに考えるべき要点

(ア)次の問題に関するニーフアイの主な教えは何ですか。

(イ)モーセの律法とイエス・キリストの贖罪との関係

(ロ)バプテスマと復活と贖罪とを含むイエス・キリストの生涯と使命

(リ)リハーの民の子孫に復活のキリストがお現われになったこと

(ロ)イスラエルの家、とくとユダヤ人の散乱と集合

(ハ)モルモン経が世に現われることとに關係している、いろいろな環境と、この新しい聖典に對して世の人々のあらわす反応

一 応

(イ)主が「驚嘆すべき御業を始めていたもう」とき、末日に存在している状態

(ロ)祈りの価値と効果

(ハ)ニーフアイはその別れの証詞の中で、どのような意味の深い忠告をモルモン経を読む人々に贈りましたか。

(このレッスンの間に起った出来事は約十四年にわたっています)

「教師のために提示した要点」

第九課 月 日

教材

ニーフアイ第二書、十二―三十三
章(百三十七―二百頁)

「読書のときに考えるべき要点の考察」

一、(イ)モーセの律法は、民がイエス・キリストの教えと、導きとめぐみを施したもう御業とを受け入れる準備として民に与えられました。ニーフアイ人はキリストの降臨とその使命とについてよく知っていましたけれども、モーセの律法を守り行うように命ぜられました。ニーフアイは、イエス・キリストの贖罪によってだけ救われることができるといふことを非常に明らかにしました。(ニーフアイ第二書三十一―三十二参照)

(ロ)ニーフアイは紀元前五百年に此世に居た人でありましたがそれでもイエス・キリストという正しい名前と、救い主が生れる正確な年とを知っていました(ニーフアイ第二書二十五―二十六参照)

その上ニーフアイは「あらゆる義しいことを尽すため

に」救い主がバプテスマを受けになることを知っていました(ニーフアイ第二書三十一―三十二参照)。またニーフアイは、救い主が死人の中から復活なさること(ニーフアイ第二書二十五―三十三、二十六―三十二参照)救い主の贖罪は無限であること(ニーフアイ第二書二五―三六参照)などを知っていました。

(ニ)ニーフアイは早いころに受けた示現によって、復活なさったイエス・キリストがリハーの民の子孫に現われたもうことを示されました(ニーフアイ第一書十二―一六参照)このレッスンの読書教材の中で、ニーフアイは自分の民の中にある悪人たちは、この復活なさったキリストの現われたもう前に亡ぼされるにちがいない、またキリストがお現われになってから四代のうちに自分の民に「速かに亡びがくる」にちがいないと予言をしています(ニーフアイ第二書二六―一十参照)

(ハ)ニーフアイは二つの「散乱」と「集合」が起ることを言っ

ています。その一は、ニーフ
アイがそれを言ったときです
に起っていた「バビロンのと
らわれ」のときの「散乱」で、
紀元前五百三十年ころにユダ
ヤ人がエルサレムに戻された
「集合」であり、第二は、イ
エス・キリストが十字架にお
かかりになった後に、ユダヤ
人がローマ人のために「散乱」
をすること、末日にそのユ
ダヤ人がエルサレムに戻つて
くる「集合」のことです（ニ
ーフアイ第二書二十五〇十一
—十七参照）

(*) ニーフアイは、彼の民の記録
である聖典が世に現われる時
のまわりにある環境をかなり
くわしく描写しています。

(-) その記録は万国の民が「罪
悪とあらゆる憎むべき行い
をほしいまにまにして酔うで
あろう」（ニーフアイ第二
書二十七〇—）末日の時代
に現われるはずである。

(三) 三人の見証者。「その書物
を授けられる一人のほかは
三人の見証者が神の能力によ
つてこれを見ることので
きる」（ニーフアイ第二書
二十七〇十二—十三）しか

しながら、このほか少数の
者が、その記録が写しとら
れた金版の一部は封じてあ
る。そしてこの封じてある

部分には「世の始めから世
の終りまでについて神の啓
示したもうたことがのつて
いる」（ニーフアイ第二書
二十七〇七—八、二十一—
二十二参照）この封じてあ
る部分は、封じてない部分
と一しよに始め公けにされ
ないであろう。

(四) この封じてない部分の言葉
は、学問のある人のところ
へ持つて行かれるが、この
学者は「その書物を読むを
得ず」と言うであろう。そ
こで主なる神は記録を繙訳
する能力に熟達してない
一人の者に与えたもう。

(註) これはマーテン・ハリス
がチャールス・アントン教授
に会つたときのことを言つて
いる。「高価なる真珠」ジョ
セフ・スミスの著二〇六十三
—六十五参照。

(四) 多くの人はこの新しい聖典
を受入れない。彼らは「聖
書か、聖書か。われらはす

でに聖書を持てり。このほ
かには聖書あるべからず」
と言うのであろう（ニーフ
アイ第二書二十九〇三參
照）

(*) 主なる神が「驚嘆すべき御業
に着手したもう」末日の状態
をニーフアイは次のように挙
げています。

(-) その時には「主のために立
てたのではない」教会があ
り、これらの教会の聖職者
たちは「自分の学問で教え
を伝え」また「聖霊をしり
ぞける」（ニーフアイ第二
書二十八〇三—四参照）

(-) その日サタンは大きな力を
得て「万事よろしい」すな
わち、何も変える必要はな
い、と或る人々に言い、ま
たほかの人々には「地獄は
ないものである。また悪魔
はないものであるから、私
は悪魔ではない」と言う。

(-) ニーフアイ第二書二十八
〇二十一—二十二参照）

(三) その時の人々は、小さな罪
を犯してもよいと言い「明
日死ぬかも知れないから、
飲んだり食つたりして楽し
め」と言うであろう（ニーフ

ファイ第二書二十八〇七—
八参照）

(四) 主なる神は、主の民が神と
結んだ契約を忘れずに、再
び御手を伸べてイスラエル
の家の民を元に復せようとし
たもう（ニーフアイ第二書
二十九〇一参照）

(*) ニーフアイは私たちが「みた
ま」に關することを知り、救
いに必要な祝福を受けるよう
に「キリストの御名によって
天の御父に祈れ」と勧めます。
またさう、祈らねばならぬ
ことを教える。「みたま」は主
なる神だけから来る、「悪魔
は祈れと人に教えず、かえつ
て祈つてはならないと教え
る」と告げています（ニーフ
アイ第二書三十二〇八—九參
照）

二、おそらく一番ひろく引用され
ているモルモン經の聖句は、モロ
ナイ書第十章四—五節の聖句でし
ょう。その中で私たちはニーフア
イ人の記録が真実であるという証
詞をどうして得るかを勧告されて
います。ニーフアイはその別れの
言葉を述べるに當つて、同じ忠告
を私たちに与えています。
「さて私の愛する兄弟たちよ、

またユダヤ人よ、世界の隅々に至るすべての人々よ。この言葉を聞いてキリストを信ぜよ。たとえこの言葉を信じなくともキリストは必ず信ぜよ。この言葉はキリストの言葉であつて、キリストがこれを私に伝えたもうたのであるから、もしもキリストを信ぜれば必ずこの言葉も信ずるようになる。この言葉は善を行えとあらゆる人に教え勧めてゐる。(ニーフアイ第二書三十三〇十参照)

のしんちゅう版からとつたゼノスのたとえ話、ならびにヤコブによるそのたとえ話の解説(白ヤコブと背教者シユレムとの間に交わされた会話 (四)ヤコブの述べた別れの言葉などがのつています。ここで特に注目すべき点は、ヤコブが教義をはつきりと教えていることと、ヤコブがシユレムの主張を断然しりぞけて、その間違いを攻撃していることであります。読書のときに考えるべき要点(一)ニーフアイは大たい何年ごろに死にましたか。(二)ニーフアイ人に属していた民、およびレーマン人に属していた民はそれぞれ何と呼ばれましたか。(三)民の「祭司であり教師である者」として、ヤコブとヨセフはどのような責任を引き受けましたか。(四)次の問題に関するヤコブの主な教えは何ですか。(五)信仰の力。(六)キリストが降臨なさるときユダヤ人がキリストを受け入れないわけ。(七)「たとえ話」とはどのような話ですか。(八)ゼノスが栽培した「かんらんの木」と野生の「かんらんの木」

第十課 月 日

読書教材

ヤコブ書、一―七章(二百一―二百三十四頁)
レッスンの目的

(イ)福音の教義に関するヤコブの教えをしらべる。

(ロ)栽培した「かんらんの木」と野生の「かんらんの木」に関するゼノスのたとえ話を研究する。

(ハ)シユレムの言った偽わりの主張と弁論とを読む。

読書教材の簡単な内容説明

ヤコブ書はニーフアイの弟のヤコブが書いた書物であります。その中には(一)ヤコブがその民に与えたいくつかの教え(二)レーマン

のしんちゅう版からとつたゼノスのたとえ話、ならびにヤコブによるそのたとえ話の解説(白ヤコブと背教者シユレムとの間に交わされた会話 (四)ヤコブの述べた別れの言葉などがのつています。ここで特に注目すべき点は、ヤコブが教義をはつきりと教えていることと、ヤコブがシユレムの主張を断然しりぞけて、その間違いを攻撃していることであります。読書のときに考えるべき要点(一)ニーフアイは大たい何年ごろに死にましたか。(二)ニーフアイ人に属していた民、およびレーマン人に属していた民はそれぞれ何と呼ばれましたか。(三)民の「祭司であり教師である者」として、ヤコブとヨセフはどのような責任を引き受けましたか。(四)次の問題に関するヤコブの主な教えは何ですか。(五)信仰の力。(六)キリストが降臨なさるときユダヤ人がキリストを受け入れないわけ。(七)「たとえ話」とはどのような話ですか。(八)ゼノスが栽培した「かんらんの木」と野生の「かんらんの木」

のたとえ話をしたとき、彼はその栽培の「かんらんの木」を何にたとえ、野生の「かんらんの木」を何にたとえましたか。また栽培した「かんらんの木」の元の自然の枝、葡萄園の主、僕べをする事、葡萄園の主、僕べなどはそれぞれ何をさしていますか。

またこれと同じことは聖書のどこに書いてありますか。

(イ)栽培した「かんらんの木」の「柔らかい新芽」を樹木園の一番端の方へ持って行って、あちらこちらに植えることは、何の何を言っているのですか。

(ロ)「キリストというものが現在にもなく過去にもなく、またこれもなくつた論拠はどこですか。(このレッスンの中の出来事はおそらく十年から二十五年の間に起つたものと思われる)

「教師のために提示した要点」

第十課

月 日

教材

ヤコブ書、一―七章(二百一―二百三十四頁)
「読書のときに考えるべき要点の考察」

(一)ニーフアイは大たい紀元前五百四十四年ごろに死にました。

(二)リーハイの移民団の子孫の家族名は、二人の最初の指導者、すなわちリーハイとイシメルの息子たちの大部分の名をとってつけられました。すなわち、ニーフアイの民はニーフアイ人、ヤコブ人、ヨセフ人、ゾラム人などより成り、レーマンの民はレーマン人、レミユエル人およびイシメル人から成つていました。

(註)リーハイの息子たちの子孫は、サムの子孫を除いてニーフアイ人、レーマン人、レミユエル人などになった。サムには家族があつたが、リーハイの予言の通りサムの子孫は「ニーフアイの子孫と共に数えられる」ようになった。(ニーフアイ第二書四〇十一参照)

(三)主なる神は、神のまことの教会の指導者に、その民が正しい道を履み行うように教える責任を負わせたまいます。もしもその指導者たちがこの責任を果さないために民が罪を犯すならば、指導者たちはその罪の責任を分かたなくてはなりません。(エゼキエル書三十三〇―一九参照)

識についてとくに気をつけて読んで下さい。

読書の時に考えるべき要点

(一)イノスは、現在の私たちにとって祝福となっているどのような約束を主なる神から与えられたか。

(二)ジェロムの生きていたうちにニールファイ人がレーマン人よりも多かったですか、それともレーマン人がニールファイ人よりも多かったですか。

(三)オムナイ書の中に、ケミシの書いた記録はどれくらいの程度見えていますか。

(四)「ゼラヘムラの民」と言われている人々を、教会員はしばしば何と呼んでいますか。この人々はイスラエルの何の支族に属していますか。

(五)コリアントメルとはどのような人ですか、またコリアントメルがゼラヘムラの民と「九ヶ月の間」住んでいたのはいつの頃ですか。

(六)アマレカイの時代にゼラヘムラの民とニールファイの民とが合併していた当時、二人の王がその国を治めました、それは誰と誰ですか。

(七)オムナイ書の終りには、どのよ

うな秘密に包まれていることが記してあります。

(八)アマレカイは誰に「ニールファイの小版」を譲り伝えましたか。

(九)モルモンは、大たいいつ頃「モルモン言」を書きましたか。

(十)モルモンは「モルモン言」を書いた時、主としてどんな目的をもっていましたか。

(このレッスンの中にある出来事のあった期間は「モルモン言」を除いて約三百八十年)

「教師のために提示した要点」

第十一課 月 日

教材

イノス書、ジェロム書、オムナイ書、モルモン言(二百三十五—二百五十一頁)

「読書のときに考えるべき要点の考察」

(一)イノスは、主なる神がそのみこころになつた時、ニールファイ人に「歴史をとり出してレーマン人に授けよう」という約束を主なる神から与えられました。

(二)イノス書十六節)モルモン経が世の中に出たことはこの約束が実現したことであります。

(三)ジェロムの時代には、レーマン人の数の方がニールファイ人の数よりも「はるかに多く」ありま

した(ジェロム書六節)。

(四)ケミシの書いたことは、日本版モルモン経の中に約五行のついでだけであります(オムナイ書九節)。ケミシの子のアビナドムの書いたことは十一—十二節にわたっています。

(五)「ミユレク人」という言葉はモルモン経の中に一度も出てこないけれども、大たいの末日聖徒はゼラヘムラの民のことを「ミユレク人」と言っています。ゼラヘムラの民は「バビロンのとらわれ」の時、紀元前約五百八十九年にエルサレムを出た移民団の人々の子孫であります。この移民団の中にゼラヘムラの先祖であり、ユダの王であるゼデキヤの息子ミユレクが居ました。(モーサヤ書二十五〇—二、ヒラム書八〇—二十一参照)。

ユダ王国の支配者になれるのはユダの子孫だけでありますからミユレクとその子孫とはユダの支族に属します。

(六)コリアントメルはジェレド人の最後の将軍でありました(イテヘル書十二〇—一、十三〇—二十一—十二参照)。モルモン経の中には、コリアントメルが「ゼラヘムラの民」と共に住んでいた時

を特に記してはありませんが、それは紀元前五百八十九年も後(ミユレクの民がエルサレムを始め立ったとき)の頃で紀元前約二百年よりも前の頃(モーサヤとその民が始めてゼラヘムラの地へ入った時)であつたにちがいないでしょう。

オムナイ書の第二十節には、モーサヤのところへ持って来られた大きな石のことが書いてありますが、その石の上にコリアントメルが記してあつたのです。しかし、そうだからと言ってコリアントメルがモーサヤの時代に生きていたとは限りません。コリアントメルがゼラヘムラの民の中に「九ヶ月」住んでいたのは、モーサヤの時代よりも数十年もしくは数百年前のことであつたとも言えます。

(七)ゼラヘムラの民とニールファイの民とが合併していた時、最初にモーサヤがその民の王となり、次にその息子のベンジャミンが王位をつぎました。

(八)アマレカイの時代に、ゼラヘムラの地から一つの移民団がニールファイの地へ帰って行きました。しかし、仲間の間に不和が

起つて、争いの末、五十人だけ生きのこつて、またゼラヘムラの地へ戻つてきました。その後また別の探険隊が組織されて、ニーフアイの地へもう一度出かけて行きましたが、その中にはアマレカイの兄弟が入っていました。オムナイ書の終る時に、これらの人々の消息は全くわかつて居りませんでした。

(イ) アマレカイの子供がありませんでしたから、彼は「ニーフアイの小版」をベンジャミン王へ譲り伝えました。このようにして「ニーフアイの小版」と「ニーフアイの大版」の二つがベンジャミン王のおさまつたわけでありませんが、ベンジャミン王は「ニーフアイの小版」の記録を止めようと決めたと思われ

ません。(ウ) モルモンは紀元三百十年ころに生れ、紀元三百八十五年ころに殺されました(ニーフアイ第四書第四十八節およびモルモン書一〇二、六〇五参照)。「モルモン言」はその生涯の終りに書かれたものと思われま

す。(イ) モルモンは「王のみたまの働きによつて」ベンジャミン王の比較的若いころに終つた「ニーフ

ファイの小版」を、ベンジャミン王が年をとつて此世を去ろうとして居る時に終つた「リーハイの記録」の抜き書きに代用することもできるといふことを知りました。それで、モルモンは「モルモン言」の中にベンジャミン王の生涯に起つた主な出来事を記してありますから、「ニーフアイの小版」に誌してある記事とモルモンが「モーサヤ王の書いたものから抜き書きした記事」とはつながつて、ニーフアイ人の歴史には少しも破れ目がなくなりました。

「生徒のために提示した要点」
第十二課 月 日

読書教材

モーサヤ書、一一六章(二百五十二―二百七十六頁)

レッスンの目的

(イ) 現在私たちが持っている「モルモン経」と、四つの主な版すなわち「ニーフアイの小版」、「ニーフアイの大版」、「レーパンのしんちゅう版」、「モルモン」の版との間の関係がよく解るようになること。
(ロ) ベンジャミン王がその説教の中で述べた主な教えの要点を理解すること。

(イ) 神の能力と慈悲と先見とについて、また神の御子イエス・キリストの神聖な贖罪とについて、読む者の心の中の信仰を強めること。

読書教材の簡単な内容説明

現在私たちが持っているモルモン経にあるモーサヤ書は、「ニーフアイの大版」の中にあるモーサヤ書の原本からモルモンが抄録したものであります。

モーサヤ書の第一章から六章までの焦点はベンジャミン王の説教であります。この説教の中に述べたある福音の教えについて、また天使が直接にベンジャミン王に与えた資料について注目して下さい。

読書のときに考えるべき要点

(イ) リーハイが「エジプト人の言葉」を学んだから「レーパンのしんちゅう版」に誌してあることが解つたと言つて居ることから、どのようなことが考えられますか(モーサヤ書一〇四参照)。
(ロ) モルモン経の中に言つてある二つの神殿(ニーフアイ第二書五〇八、モーサヤ書一〇十八参照)はどこに在りましたか。
(ハ) ベンジャミン王に現われた天使は、王に向つて、

イエス・キリストの御名と使命とについて、またイエス・キリストの贖罪と(イ) モーセの律法(ロ) アダムの犯した罪との間の関係について何と告げましたか。なぜ「肉欲に従う人」は神の敵ですか。また各自の罪を悔い改めることを拒む人々の状態は神の敵ですか。

(イ) ベンジャミン王の教えによればどういふ意味で、人が同胞のために務めることが、また神のために務めることになりませんか(モーサヤ書二〇十七参照)。

なぜ私たちは決して主なる神に恩を着せることができませんか。私たちは自分の罪を赦されるために何を為さなくてはなりませんか。なぜ私たちは、実際に困つて居る人々に生活の必需品を与えなければなりませんか。

(ロ) モーサヤ書のモーサヤと、オムナイ書の十二―二十三に出てくる前のモーサヤとはどんな関係がありますか。

(イ) ベンジャミン王はモーサヤにどんな神聖な記録と神聖な物とを伝えましたか。
(ロ) 現在の西歴によると(イ) モーサヤが国を治め始めた年

と (四)ベンジャミン王の死んだ年とはそれぞれ何年ですか(モーサヤ書六〇四―五参照)。またモーサヤは何才で王になりましたか。

(四)モーサヤ書六〇四に挙げてある日附は、オムナイ書五節以來始めての正確な日附であります。この間何年の才月が流れていますか。

(このレッスンの中の出来事の起った期間は、少くとも三年です)。

「教師のために提示した要点」

第十二課 月 日

教材

モーサヤ書、一―六章 (二百五十二―二百七十六頁)。

「読書のときに考えるべき要点の考察」

(一)「リーハイはエジプト人の言葉を学んだから、このしんちゅう版に刻んであることが読めた」というレーバンのしんちゅう版に関する言葉は、そのしんちゅう版の上にはエジプト語が刻んであったから、おそらくイスラエル人がエジプトへ行つてから記録がつけ始められたと思われることを示しています。

(註)レーバンのしんちゅう版の

記録が大洪水とバベルの塔以後に書き始められたことはほとんど確かである、それはこれらの出來事の前にはエジプト語がなかったからである。もちろん、このしんちゅう版の記録者が大洪水以前の記録を知っていたかも知れないが、しんちゅう版そのものの上にはエジプト語だけが刻んであったと思われる。

この事を支持する他の証明には次のようなものがあります。

(四)レーバ나가「ヨセフの子孫であつたから、レーバンとその先祖はこの歴史を書いておいたのである」(ニーフアイ第一書五〇十六)ということ。

(四)「エジプトへつれて行かれたヨセフは、予言をした。その予言はしんちゅう版に刻んである」(ニーフアイ第二書四〇一―二)ということ。

レーバンのしんちゅう版のついている記録には「モーセの五書」があつたので(ニーフアイ第一書五〇十一)、モーセの書いたものが刻んでありその他の記録者は「ユダヤの王ゼデキヤの代の始めに至るまで」すなわちリーハイがエルサレムを出たその年(ニーフ

ファイ第一書一〇四)に至るまで、代々つづいて記録をしていますが。

(四)ベンジャミン王の説教が近くで行われた神殿はゼラヘムラの地に在りました(モーサヤ書一〇十八、二〇七参照)。モルモン經の始めに出てくる、ニーフアイの建てた神殿はニーフアイの地に在りました(ニーフアイ第二書五〇八、十六参照)。

(四)ベンジャミン王の説教の中心はイエス・キリストの生涯と使命について天使から聞いたことをもう一度民に話すことでありました。(モーサヤ書第三章参照)

この中で私たちは、イエス・キリストは神の御子としてこの世に來りたまひ、その母はマリヤであることを教えられました(モーサヤ書三〇八参照)。また、イエス・キリストは十字架にか

けられて三日目に死者の中からよみがえりたまひ、後に世の人を裁判したもう(モーサヤ書三〇九―十参照)。またキリストは始祖アダムの咎を贖ひ、また悔い改めるならすべての人類の罪を贖ひたもう(モーサヤ書三〇十一、十九―二十一参照)。またキリストの血は知らずに罪

を犯した一切の者と、死んだ幼児とを贖う(モーサヤ書三〇十一、十六―十八参照)。キリストはモーセの律法を成就し(モーサヤ書三〇十五、ニーフアイ第三書十五〇四―五参照)、もしも人が聖靈の導きに従うなら「みたま」によつて新しく生れていない「肉欲に従う人」を、「みたま」によつて新しく生れることと悔改めとによつて聖徒とならせたもう(モーサヤ書三〇十九―二十一、五〇七参照)ことを教えられました。

イエス・キリストの贖罪を信ぜず、各自の罪を悔い改めない人々は「自分に罪あることと憎むべき行いのあることを覺つて苦しみを感ずる状態に置かれ」「かれらの受ける責苦はあまたかとも燃える硫黄の湖の苦しみにひか」としい(モーサヤ書三〇二十五―二十七参照)。

(註)ベンジャミン王はここで文字通り實際の「燃える硫黄の湖」のことを言っているのではなくて、火の中で受ける肉体的苦痛にひとしい精神の苦惱のことを言っていることは明らかである。ベンジャミン王は、前にその説教(モーサヤ書二〇三十八

参照)の中で、悔い改めをしな
い罪人の受ける苦しみは「とこ
しえに焰をあげる消えぬ火のよ
うである」と言った。ベンジャ
ミン王は彼らの苦しみは「燃え
る硫黄の湖のようである」(モ
ーサヤ書三〇二十七参照)と言
って、前と同じような言葉の表
現を使っている。

ベンジャミン王の民は、未来
の生活とイエス・キリストの使
命について広い知識があったに
もかかわらず、なおモーセの律
法を守るように要求されました。
それは彼らが「イエス・キ
リストの神権時代」の前の「神
権の時代」に生きていたからで
あります。モーセの律法は、人
々がキリストの降臨なさるのを
迎える準備をするための「教師」
として、世人に与えられました
が、キリストが贖罪を為し終え
たもうたのでその目的を達して
用のないものとなりました(ニ
ーファイ第三書九〇十七、十五
〇四一五、八参照)。

(註) モーサヤ二〇三に加えてニ
ーファイ第二書五〇十、ジェロ
ム書五およびモーサヤ書十三〇
二十七―三十二参照のこと。
全然同じではないが、やや同じ

ような状態で末日聖徒イエス・
キリスト教会の会員たちも生活
をしている。聖徒たちは、今彼
らが守っているよりは一層高度
の律法(協同制度もしくはエノ
クの制度)についての知識を持
ち、またこの制度がいつか将来
に実施されることを知っていて
も、現在は一層低度の律法すな
わち「自分の一」の律法を守っ
ている。

何ベンジャミン王の言葉の中から
一番よく引用されるのは「お前
たちが同胞のために務めるのは
ただお前たちの神のために務め
るのである」(モーサヤ書二〇
十七)という言葉でしょう。ベ
ンジャミン王がここに言ってい
ることの本質的の意味は、隣人
に奉仕する義務らきによって神を
愛する愛が一番よく表われると
いうことであります。これを見
ると、新約聖書にある「心を尽
し、精神を尽し、思いを尽して
主なるあなたの神を愛せよ。こ
れがいちばん大切な第一のいま
しめである。第二もこれと同様
である。自分を愛するようにあ
なたの隣りを愛せよ」(マタ
イ伝二十二〇三十七―三十九参
照)という主なる神の御言葉を

思い出します。「教義と聖約」
の中で、救い主はさらに「汝ら
もしわれを愛すれば、われに仕
えわがすべての誠命を守るべき
なり。見よ、汝ら貧しき者のこ
とを思い起し、汝のこころの
中に高慢あるべからず、汝、怠
惰なることなかれ、汝、相愛し
て共にこの世に生きよ」(四十
二、二十九―三十、四十、四十
二、四十五)と仰せになってい
ます。ベンジャミン王もまた、
私たちが神を愛していることを
示すいちばん良い道は、神に仕
えてその誠命を守ることであり
また隣人を愛していることを示
すいちばん良い道は隣人に奉仕
することであると語っています。

ベンジャミン王がその説教の
中で言っている次の要点は、私
たちがこの地球上で持っている
すべてのものは、神から与えら
れているということでありま
す。私たちは神さまのおかげで
衣食住や健康を得て生活を営ん
でおります。そして神は私たち
にその誠命を守れただけ要求し
ておいでにしますが、私たち
がその誠命を守る時には、誠命
を守ることに對して祝福を受け

ます。それでありますから、私
たちは生きていることそれ自身
に對してまだ神から恩を受けて
居り、ベンジャミン王の言葉の
ように「これから先とこしえに」
恩を受けて居ります(モーサヤ
書二〇二十四参照)。全く、私
たちは神に恩を着せることはで
きません。

ベンジャミン王の民が王の説
教を聞いて、いかにしたら「キ
リストの血にによる身代りの贖罪
の効力を及ぼして、われらが各
々その罪を赦されて心を清めら
れるように」なるかとたずねた
とき(モーサヤ書二〇二十四参
照)、ベンジャミン王は、お前
たちは神のめぐみとイエス・キ
リストの贖罪を信じなければな
らない、その罪を悔い改め、罪
をすてて神の前に悔い改めら
なくてはならない、そして、神が
お前たちを赦したもうように真
心から祈らなくてはならない。
(モーサヤ書四〇六一―十参照)
と言いました。

(註) 「ベンジャミン王が水と靈
によるバプテスマのことを特
に言っていないところから見て、
王はすでにこのような儀式を受
けたことのある民に向って説教

をしていたと考えるのが合理的であろう。ニーフアイ人はバプテスマを施さず権能をもつていた(ニーフアイ第二書六〇二参照)、彼らはバプテスマが救いに欠くことのできないことを理解していた(ニーフアイ第二書九〇二十三―二十四参照)、また義しいニーフアイ人はモルモン経の始めからバプテスマを行っていたと思われる(ニーフアイ第二書三十一〇十七参照)。更に詳細に知るためにはアルマ書五〇十四、二十六、四十九を参照のこと。

このようにして罪の赦しを受けた人々は、自分たちは神から見るとすべて乞食であり、肉についても霊についてもあらゆることを神に依存して居るから、私たちの持っている物は本当に自分たちのものでなくて「すべてを与える神」のものであること、従って本当に乏しい人々には与えることを惜しんではいられないということを悟るでありました。

(四) モーサヤ書の中のモーサヤ王は、ベンジャミン王の息子です。ベンジャミン王はニーフアイ人の移民団をニーフアイの地から

ゼラヘムラの地へ導いて行ったモーサヤの息子です。それであるから、あの方のモーサヤ王は先のモーサヤの孫に当る人です。

(四) モーサヤの父であるベンジャミン王が、モーサヤに譲り伝えた神聖な物と神聖な記録とは(モーサヤ書一〇十六参照)、次のようなものでした。

(イ) レトバンのしんちゅう版、これはニーフアイ人の聖典となりました(ニーフアイ第一書五〇十一―二十二)

(ロ) ニーフアイの小版、これは紀元前約五百七十年から紀元前約百三十年までのニーフアイ人の宗教上の歴史がのつていた。紀元前約百三十年に至ってニーフアイの小版の記録は絶えました(ニーフアイ第一書九〇二一六、ニーフアイ第二書五〇二八―三十三、オムナイ書二五参照)。

(ハ) ニーフアイの大版、これにはもともと紀元前約五百九十年から紀元前百三十年ころに至るまで、ニーフアイ人の俗世の歴史がのつていましたが、紀元前百三十年ころにニーフアイの小版の記録が絶えまし

たから、その後は宗教上のことも俗世のことも共に記録するようになりました。モーサヤはこの大版の上にひきつづき記録をしました(ニーフアイ第一書十九〇一―六、ニーフアイ第一書九〇二―四参照)。

(ニ) レイバンの剣、これはニーフアイ人にとって正義と神の力の象徴になっていました。ベンジャミン王がレイマン人の攻撃を迎えてニーフアイ人を守ったときに用いた剣こそ、このレイバンの剣でありました(オムナイ書十三―十四参照)。

(ホ) 指向球、これはリーハイとその一行が荒野と大海を越えて約束の地へ行くのを導くために主なる神が備えたもうたものです。(ニーフアイ第一書十六〇十、二十六―三十、ニーフアイ第一書十八〇二十一―二十二参照) この指向球は「リアホナ」と呼ばれました(アルマ書三十七〇三十八)。

(ヘ) モーサヤは三十才のとき(紀元前約百二十四年)にその国の統治を始めましたが、それから約三年後に父のベンジャミンは亡

くなりました(モーサヤ書六〇四―五)。このようにして、ニーフアイ人の暦によるとモーサヤ王の統治はリーハイがエルサレムを出てから四百七十六年ころに始まったのであります。(モーサヤ書六〇四参照)

(オ) オムナイ書にある最後の正確な日附は「三百二十年経って(オムナイ書五)」というところであります。従ってモーサヤ書六〇四には「四百七十六年後」とありますから、この二つの間の差は百五十六年となります。

「このレッスンに関する追加の資料」

現在のモルモン経(英文)の始めから百三十二頁までは(日本語版のモルモン経では二百四十七頁)オムナイ書の終り、モルモン言の前、「ニーフアイの小版」に九人の記録者が第一人称を用いて記録したのからとったものであります(ニーフアイ、ヤコブ、イノス、ジェロム、オムナイ、アマロン、ケミン、アビナダム、アマレカイ)。事実、モルモンはこれら九人の記録者の記録したものを抄録しました。

(一四九頁に続く)

EIGO KAIWA TEKISUTO

DAI SAN KA

- Chōrō : Tanaka san, otaku ni o-ukagai dekita node, hon-tō ni kansha shite imasu. Watakushi-tachi wa, Matsujitsu seito Iesu Kirisuto Kyōkai no senkyōshi desu. Anata no Shūshi wa nan desuka ?
- Tanaka : Bukkyō desu.
- Chōrō : Sōdesuka. Tashikani genzai no yononaka niwa takusan no kotonatta shūkyō ga arimasu. Tanaka san, anata wa naze sono yō ni takusan no shūkyō ga aru to omoi masuka ?
- Tanaka : Sorewa shūkyō ni taishite takusan no iken ga aru kara dewa nai deshō ka.
- Chōrō : Sōdesu. Soremo riyū no hitotsu desu. Tatoeba, Kirisuto-kyō dewa, iroiro baputesuma ni tsuite kangae ga chigatte imasu. Aru kyōkai dewa, baputesuma ga hitsuyō de aru to shinjite imasuga, ta no kyōkai dewa sore wo shinjite imasen. Soshite aru kyōkai dewa, baputesuma wa karada zentai wo mizu ni shizumeru koto dato shinjite imasu ga, ta no kyōkai dewa sukoshi no mizu wo furikakeru koto da to shinjite imasu.
- Mukashi kono chijō ni, yogensha tachi ga sunde imashita. Sono tōji, kamisama wa donoyō ni shite, kono yōna mondai ni taisuru kotae wo jinrui ni o-atae ni narimashita ka ?
- Tanaka : Kamisama wa sono yogenshani ohanashi ni nari mashita.
- Chōrō : Naze yogensha no kotobawa sonna ni kachi ga arimashita ka ?
- Tanaka : Kamisama ni kawatte hanashita kara desu.
- Chōrō : Sono tōri desu. Anatawa, sakihodo kara, sono yogensha

ENGLISH CONVERSATION TEXT

LESSON 3

Elder: It's a real pleasure to be in your home Mr. Tanaka. I mentioned that we are calling from the Church of Jesus Christ of Latter-day Saints. With which church are you most familiar?

Tanaka: I am a Buddhist.

Elder: There are certainly a great many different Christian churches in the world today. In your own mind, Mr. Tanaka, why do you think there are so many?

Tanaka: Oh, I suppose it is because there are so many opinions about religion.

Elder: I am sure that is part of it. Take a teaching like baptism for example. Some churches believe that it is necessary, while others do not. Some believe that it has to be done by immersion; others do it by sprinkling. Back in ancient times, when there were living prophets upon the earth, how did the Lord give men the answers to questions like this?

Tanaka: He spoke to those prophets.

Elder: And why were the statements of the prophets so valuable?

Tanaka: Because they spoke for God.

Elder: Yes, they did. I am sure you have wondered what it was like to live back in the time of the prophets. Suppose you had lived then and had a question about religion. Why would you go to a prophet to get an answer?

Tanaka: Because I'd know his answer came from God.

Elder: Back in those times, why was it so important to have living prophets on the earth?

no jidai ni sunde itara, donna de atta kashira to omotte irassharu to shinjimasu.

Moshi, sono yogensha no ikite ita jidai ni anata ga ite, shūkyō ni taisuru gimon ga atta to shitara, anata wa yogensha no tokoro e itte kiite goran ni narudeshō. Naze deshōka?

Tanaka : Yogensha no kotae wa Kamisama kara kuru to shitte ita deshō kara.

Chōrō : Dewa, sono tōji, naze ikiteiru yogensha ga kono chijō ni aru koto ga, sonna ni taisetsu de atta deshōka?

Tanaka : Hitobito wa kamisama no kotoba wo hitsuyō to shita kara desu.

Chōrō : Jissai sono tōri desu. Konnichi demo makoto no kyōkai wo midasō to suru toki, yogensha ga ikite itara, donna ni tasuke ni naru deshōka?

Tanaka : Yogensha wa hakkirito makoto no kyōkai wo oshie te kureru to omoimasu.

Chōrō : Naze ikiteiru yogensha no kotoba wa, watakushi tachi no kangae yorimo, motto shinrai dekiru deshōka?

Tanaka : Sorewa yogensha jishin no kangae dewa naku, Kami no reikan ni yoru oshie dakara desu.

Chōrō : Hontōni sono tōri desu. Kyōkai no aida ni aru konran wo kangaeru tokini, watakushi tachi ga ikite iru yogensha wo hitsuyō to suru hitotsu no riyū wa nan desu ka?

Tanaka : Shūkyō ni tsuite shinjitsu wo watakushi tachi ni oshieru tame desu.

{ 1. Watakushi tachi wa genzai yogensha ga hitsuyō }
desu.

- Tanaka : Because the people needed the words of God.
- Elder : I am sure that is right. Even to day how could a living prophet help us to find the true church?
- Tanaka : He'd be able to tell us for sure.
- Elder : And why are the statements of living prophets more reliable than our own opinions.
- Tanaka : Because their teachings are inspired by the Lord, and aren't just their own thinking.
- Elder : You are right, there, as you think about the confusion among the churches what is one reason we need a living prophet?
- Tanaka : To teach us the truth about religion.
 [1. We need a propet today.]

(Vocabulary)

to be familiar with (yoku shitte iru, shitashii), immersion (ekitai, tatoeba mizu, no nakae zenbu hitasu koto), sprinkling (ekitai, tatoeba mizuwo parpara to furi kakeru koto), ancient times (kodai, haruka namukashi), statements (noberu koto, yūkoto, seimei), to speak for (… ni kawatte hanasu), to wonder (fushigi ni omou, … kashira to omou), I am sure (tashika ni), reliable (shinyō ga okeru, shinrai dekiru);

クイズルータ

(入試問題)

三月は入学試験の月
 大学高校中学校小学校に
 幼稚園、まだまだ、クッ
 キングススクール、デザイ
 ン科、易に床屋に警視庁
 雀の学校チイパッパ、いたる所試
 験シケンしけんである。さて皆様
 方よ、今回はモルモン大学入試模
 擬試験予解説講座のドリルとし
 て問題を作ってみた。英・数・国
 は必修だよ、理科と社会は何れか
 一方で宜しい。この試験、満点取
 れるなら、まず入学は確実、九十
 五点でいい所、汝疑うなかれト
 ね。

国語

* 次の言葉にふりがなをつけなさい。十二点

- 1、『滅亡の子。』
- 2、不死不滅と永遠の生命。
- 3、聖見者。
- 4、誠命。
- 5、能力と賜物。

* 後の文の()内に次に挙げる三つのどれかを入れて文を完成しなさい。

『イ、われら ロ、かれ ハ、こ

- れ』(1)はまことに(2)の悩みを負い(3)の悲しみをなつたところが(4)は(5)をみて(6)は悩まされ神にうたれて苦しめられると思つた。しかし(7)は(8)のとがのため傷を負い(9)の罪悪のために打たれたばかりでなく、また(10)の代りにこらしめをうけ(11)に安心を与えた(12)は(13)が打たれることによって癒されるのである。(ヒント、イザヤ書53章)

社会(撰択科目)二十五点

次の各群の出来事を古い順に並べ換えよ。

- (イ) 1、イエス・キリスト、シールム山でマホンリーモリアンキユメルにあらわる。
- 2、イエス・キリスト(エホバ)シナイ山でモーセにあらわる。
- 3、イエス・キリスト、エマオに行く道で人々にあらわる
- (ロ) 1、ゴリアテ、ダビデに倒される。
- 2、エリヤ、火の車で天に昇る
- 3、エステル、ペルシャ王妃となる。
- 4、女子言者デボラ、ギデオンと敵をうつ。
- 5、怪力サムソン、ペリシテ人

をうつ。

- (イ) 1、ジョセフ・スミス、エマ・ハールと結婚した。
- 2、神権がジョセフ・スミスに与えられる。
- 3、アントン教授、予言を成就する。
- 4、モルモン経の金版、ジョセフ・スミスに手渡される。
- 5、ジョセフ・スミス、オリヴァ・カウドリに初めて会う。

英語(二十五点)

次の文を日本語にしなさい。

- (a) Full ye care car was to be come, me zoo note.
- (b) To be, to be ten made to be.
- (c) Oh my historical, to lay may car.

数学(二十五点)

あるカツムリは昼間7m昇り夜間下りている時5mすべりおちるといふ。このカツムリが井戸(深さ20m)の底から這い出るのは何日と何時間かかるか、但し昼夜12時間ずつとする。

理科(撰択科目)二十五点

1、コップの中に氷が浮いています。真水中に沈んだ部分の体積は水面より上の部分の

体積の何倍か、また溶けた後で水面はどれ位上昇するか。氷はコップ中の水の十分の一の体積とする。

- 2、モーセが大車を率いて紅海をわたった時に水が左右に分れてかべのようになった。さて全長10km、深さ一様に20mとすると、何万トンの力が働いてこの水のかべを支えたか式をたてて計算せよ。(海水の比重を一・〇二とする。)

編集後記

▼二月中旬に来日されたヒンクレイ長老は各地の特別大会でその暖たかい人柄で人々に感銘を与えながら今月初めにお帰りになりました。何よりもの贈りものは念願の建築計画の一つとして委員の方が訪日される日も間近というメッセージでした。

▼『お友達を連れて来て下さい』『オトモダチヨツレテキテクダサイ』『おともだちを連れてきてください』……宣教師。百三十七頁の表をみて、神様の計画が如何に進行しているかをみて下さい。私たちもその遂行者の一員でありたいと思います。(Y)

図
書
案
内

教義と聖約 高価なる真珠 モルモン経	上質革製合本	1100円
教義と聖約 高価なる真珠 モルモン経	合本	300円
モルモン経	(新訳)	200円
信仰箇条の研究		330円
モルモンとは?	(新版)	150円
完成への道		200円
初等協会教科書		150円
総合聖句の手引		150円
日本系図探究要覧		100円
古代アメリカの生活		100円
旧約聖書物語		150円
家督権の祝福		100円
扶助協会手引		50円
求道者教育法		120円

日曜学校用

宗教と生活Ⅱ	150円
よきおとずれ	100円
聖書物語	150円
福音の実践	150円
聖典中の指導者	150円
我等の標準聖典	200円
古代の使徒	150円
福音の紹介	200円
シオン山の救い手たち	200円
教義と聖約の教え	150円

M I A 用

役員と指導書の手引	100円
モルモン経研究ガイド	100円
MIA・エンサイン・ローレルの手引	150円
演劇指導者基礎知識と脚本集	75円
演説が上手になる法	150円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌 (新版)	400円
子等は歌う	100円
レクリエーション歌集	400円

……………注文は各支部長へ……………

支部所在地

阿倍野 大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八
 旭川 旭川市八条五丁目
 福岡 福岡市東葉院二ノ四〇
 群馬 高崎市並榎町二七五
 広島 広島市古田町古江四〇〇ノ三
 金沢 金沢市成瀬町一一ノ四 野田方
 集会所 農業センター
 甲府 甲府市山田町六三
 京都 京都市左京区松ヶ崎桜木町一四
 松本 松本市沢村町一六〇四
 室蘭 室蘭市幸町八九
 名古屋 名古屋市昭和区北山町三ノ四一
 電(七三一四二一〇)
 新潟 新潟市中大畑町五五七 金井方
 電(二一八六六一)
 集会所 農業会館
 西ノ宮 兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四
 岡町 大阪府豊中市岡町北二ノ一八
 岡山 岡山市七日市七八

小樽 小樽市富岡町一ノ三五
 三ノ宮 神戸市灘区篠原本町四ノ三五
 電(八二一二六〇二)
 札幌 札幌市北二条西二四丁目
 仙台 仙台市光禅寺通り二八
 電(五一〇八九七)
 東京中央 東京都渋谷区八幡通一ノ三四
 電(四〇八一三三〇七)
 東京北 東京都豊島区高田本町二丁目二四八七
 集会所 日曜学校 武蔵野ドレメ
 MIA 徳川生物研究所
 東京南 東京都大田区南千束町二四九
 電(七八二一六一三一)
 東京西 東京都港区青山北町六ノ三四
 電(四〇二一四〇一〇)
 山形 山形市八日町八五〇
 柳井 山口県柳井市今市三九一
 横浜 横浜市港北区篠原町二九
 電(四九一八七七二)
 普天間 沖縄宜野湾村野嵩区三二八
 那覇 沖縄那覇市松尾区一三九